

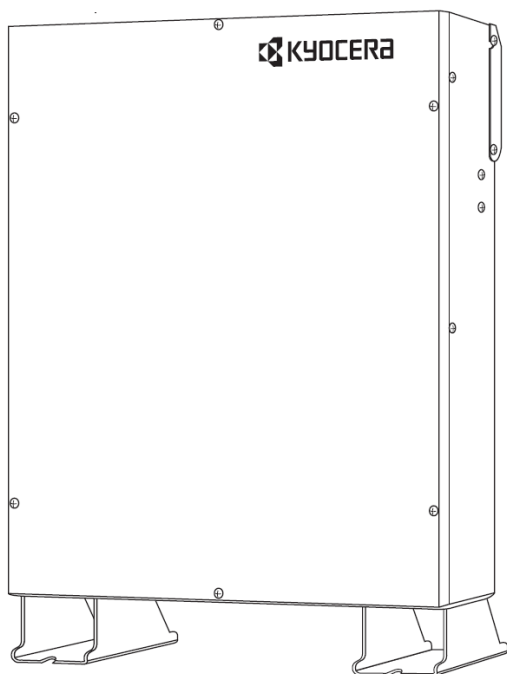
取扱説明書

リチウムイオン蓄電システム

型番 **EGS-LM0322G**

もくじ

本製品の特長	2
もしもの「安心」、ふだんの「節約」	3
安全上のご注意	4
蓄電システムの構成	9
蓄電システム各部の名前	11
室内リモコン各部の名前とはたらき	12
室内リモコンの操作のしかた	14
運転する	17
運転モードを選ぶ	19
停電になったときは	24
停電時の給電について	25
放電を停止する電池残量を設定する	26
充放電の時間を設定する	27
PV 自立引込電流を設定する	30
ネットワークの設定をする	31
ネットワークの設定を確認する	36
画面表示や操作音の設定を変える	37
日時を設定する	38
センサチェックを行う	39
設定を初期化する	40
システムを再起動する	41
エラー履歴を確認する	42
機器情報を確認する	43
室内リモコンをリセットする	44
メニューから設定できる項目	45
こんなときは	46
こんなエラーが出たときは	50
点検とメンテナンス	56
停電時の家電製品の利用について	58
保証とアフターサービス	59
仕様	60
外形寸法	61



このたびは、リチウムイオン蓄電システムをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用前に、“安全上のご注意”を必ずお読みください。

- 保証書は、「お引き渡し日」、「販売会社名」などの記入を必ず確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
この商品は日本国内で使用してください。

日本国内専用品
FOR USE IN JAPAN ONLY

本製品の特長

蓄電池システムの概要

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽電池やエネファームと蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。

停電時には太陽電池で発電した電力または蓄電池に充電した電力を使用して、特定コンセントに接続した照明などに電力を供給します。切替スイッチを使用する場合、切り替えることで平常時は系統から、停電時は蓄電システムから特定コンセントに電力供給できます。切替スイッチを使用しない場合は、平常時は電力供給が行われず、停電時にのみ特定コンセントへ電力供給できます。

リチウムイオン蓄電池搭載

約 3.3kWh^{*}のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※使用開始時に周囲温度 25℃で放電深度が 100%のときの状態のため、実際に使用できる容量とは異なります。

また低温時または高温時は容量が一時的に減少する場合があります。

室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。また直感的操作が可能な仕組みで、かんたんに操作できます。停電、緊急充電などの運転状態を画面のメッセージでお知らせします。

もしもの「安心」、ふだんの「節約」

節約方法を選べる3つの運転モード

蓄電池に充電した電力を電力使用ピーク時に利用することで電気料金を節約できます。

時間帯別の電気料金をご利用の場合に電気料金の安い時間帯の電力を蓄電池に充電する「通常モード」、太陽電池で発電した電力を蓄電池に充電する「グリーンモード」、エネファームの余剰電力を充電する「エネファームモード」の3つのモードを搭載しています。日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

● 通常モード

太陽電池の発電電力の売電を重視したエコノミー設定です。

昼間は蓄電池に蓄えた電力をあらかじめ設定した容量まで使用して電力購入量を減らしつつ、太陽電池で発電した余剰電力は売電します。蓄電池はタイマーで設定した時間帯に充電しますので、時間帯別の電気料金をご利用の場合は電気料金が割安な時間帯に設定することで充電電気料金の節約も可能です。

➔P.20：運転モードを選ぶ、P.27：充放電の時間を設定する

● グリーンモード

太陽電池の発電電力を優先的に家庭でご使用いただく、環境に配慮したエコロジー設定です。

昼間、太陽電池で発電した余剰電力で蓄電システムを充電し、その電力を夜間に使用して購入電力を削減します。

昼間に蓄電システムが満充電になった後は太陽電池で発電した余剰電力を売電する、夜間に使用した電力を電気料金が安い時間帯に充電して朝に備えるなど、設定を最適化して経済効果を発揮させることもできます。

➔P.20：運転モードを選ぶ、P.27：充放電の時間を設定する

● エネファームモード

電気をあまり使わないときにエネファームで発電した電力を蓄電池に充電し、たくさん電気を使うときに放電することで、電気料金を節約できます。

エネファームの型式によって本製品に併設できないものがありますので販売会社に確認願います。エネファームモードからその他のモードに変更する場合、その他のモードからエネファームモードに変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

➔P.20：運転モードを選ぶ

もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時や計画停電に備えて、蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。停電を検知すると、蓄電システムは自動的に自立運転に切り替わり、特定コンセントから電力を供給します。

● 昼間の晴天時は、太陽電池で発電した電力^{※1}と蓄電池を併用して電力を供給します。

● 雨や曇りの日・夜間の停電でも、充電された蓄電池から電力を供給(放電)します。

※1：停電時にエネファームで発電した電力を蓄電システムに充電することはできません。

停電時は蓄電システムからの出力で液晶テレビ、LED照明、ノートパソコンなど合計1500W以下の家電製品を使用することができます。

満充電状態の蓄電システムに300Wの家電製品を接続した場合、約9時間使用することができます。停電に備えて十分な電力を確保するために緊急充電モードを用意しています。

● 緊急充電モード

非常時の停電に備えて電力を貯めるモードです。

緊急充電モードを開始した場合、蓄電池残量を100%まで充電し、その状態を維持します。設定後24時間経過すると、緊急充電モード前の設定に戻ります。



➔P.22：緊急充電モードを開始/停止する方法

安全上のご注意





必ずお守りください

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をお読みのうえ、よく理解してください。
お読みになったあとも必要なときにすぐ見られるよう、取扱説明書(本書)は大切に保管してください。
また、人身上の傷害や財産への損害を未然に防ぐため、取扱説明書(本書)の指示、手順にしたがって操作してください。なお装置や取扱説明書(本書)に表示されている注意事項は必ず守ってください。

■誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

 警告	「死亡、または重傷※1を負うおそれがある」内容です。
 注意	「傷害※2を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。
	分解することで感電などの傷害が起こる可能性があるため、してはいけない内容です。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を示します。

設置に関する注意事項

警告



取り付け工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社へ依頼する

不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。



次のような場所への設置は行わない

蓄電システム

- 日本国外
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度：-20～+45℃^{※1}
湿度：15～90%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
[省エネルギー基準地域区分 1/2/8(ただし、屋内は除く)]
- 標高 1500m より高いところ
- 積雪により製品が埋没するところ(積雪地域に設置する場合は、屋根/囲い等を設ける)
- 塩害地域 (日本冷凍空調工業会標準規格 JRA9002-1991「空調機器の耐塩害試験基準」に基づく)
- 直射日光が当たるところ
(オプションの日除け取り付け時は除く)^{※2}
- 指定の取り付けスペースを確保できないところ (→P.6)
- 過度の水蒸気、油蒸気、煙、塵埃、腐食性物質、爆発性/可燃性ガス、化学薬品、火気の近くまたはおそれがあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 温度変化が激しいところ(結露のあるところ)
- 騒音について厳しい制約を受けるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 近くに電波妨害を受けやすい設備、機器があるところ
- 岩礁隣接地域

室内リモコン

- 屋外
- 次の温湿度範囲以外のところ
温度：-10～+40℃
湿度：25～85%RH
(ただし、結露および氷結なきこと)
- 温度変化が激しいところ
- 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- 振動、衝撃の影響が大きいところ
- 水蒸気、油蒸気、雨水、結露のあるところ
- 浸水のおそれがあるところ
- 電界の影響が大きいところ
- 直射日光が当たるところ
- 通風を妨げ、使用条件温度を超えるような押入れや階段下などの狭い場所
- 操作が困難で、表示部が確認しづらいところ

※1：本体内の温度センサの計測値によります。

温度範囲以外のあるところでは、動作を停止する場合があります。

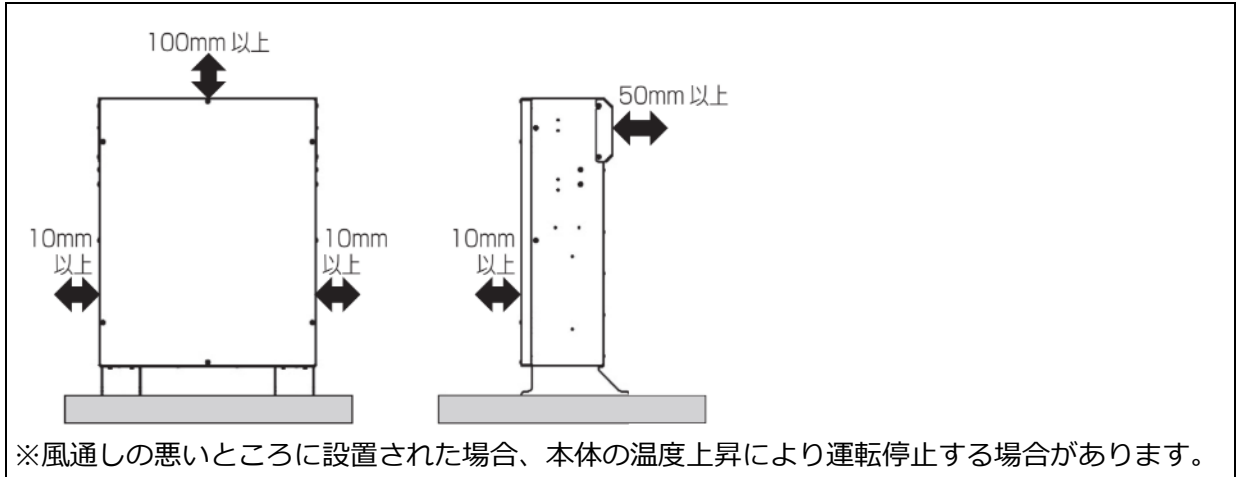
※2：ただし、日除けで防ぐことができない裏面や側面に長時間、直射日光が当たるところは除く。日除けを取り付けても、本体周囲温度が高い場合や周辺装置からの排熱などの外部影響により温度保護で一時的に運転を停止する場合があります。

安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

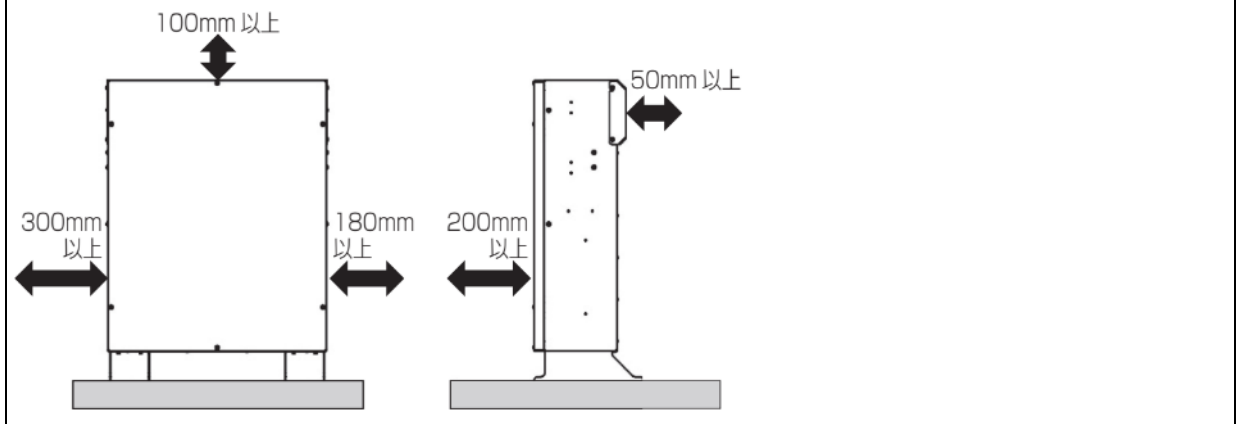
⊘ 次のような場所への設置は行わない(つづき)

【下図に示すスペース・条件を確保できない設置場所】

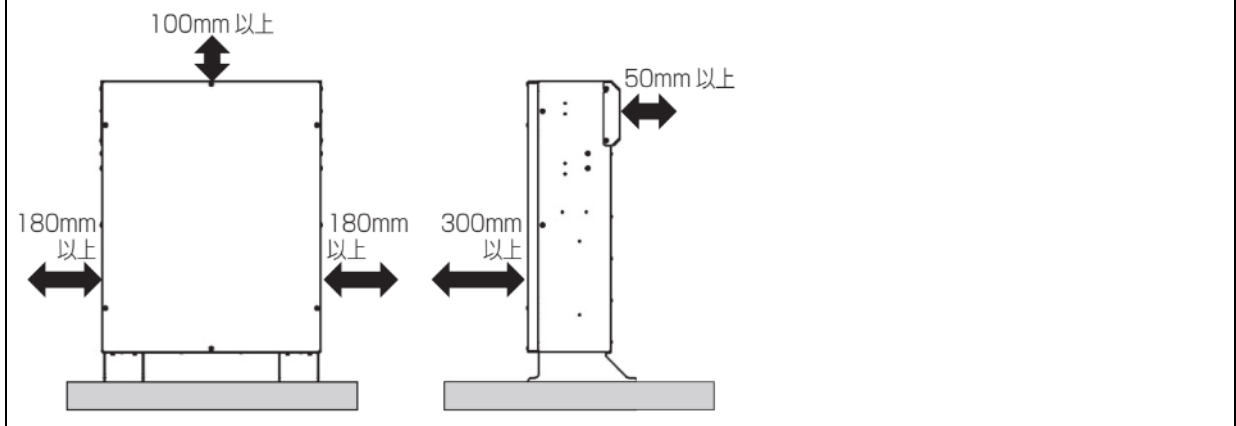


メンテナンス時に作業スペースを確保するため、下記スペースに重量物を置かないでください

●前面に作業スペースが取れない場合(左から作業時)













●前面に作業スペースが取れる場合













使用に関する注意事項

⚠ 警告

<p> 分解・改造をしない 感電や傷害を負うおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントには、生命にかかわる機器(医療機器)や途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止します。 家電製品の電源が切れ、パソコンなどのデータが破損するおそれがあります。</p>
<p> 子供だけでは使わせない 感電・やけど・火災のおそれがあります。</p>	<p> 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない 火災・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに蓄電システムの運転を停止(⇒P.18)し、その後屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする そのまま使用すると、火災の原因となります。 お買い上げの販売会社またはコールセンター(0120-71-9006)へご連絡ください。</p>	<p> 本製品に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物をのせたりしない 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。</p>
<p> 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。</p>	<p> 蹴るなどして強い衝撃を与えない 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。</p>
<p> 可燃性ガスや引火物を近くに置かない(60cm 以内) 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。</p>	<p> 電気が蓄えられているので、注意する 屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負うおそれがあります。 十分に注意してください。</p>

安全上のご注意 つづき

⚠ 注意

 <p>ぬれた手でさわらない 感電の原因となることがあります。</p>	 <p>シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない 装置の変色の原因となります。</p>
 <p>高圧洗浄機を使用しない 感電や機器の故障の原因となることがあります。</p>	 <p>装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない 受信している電波の弱い場所では電波障害を受けるおそれがあります。 テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。</p>
 <p>特定コンセントには AC100V で最大 15A(1500W)未満の機器を接続する 機器の故障の原因となることがあります。</p>	 <p>特定コンセントにはポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しない 非常時設定では、負荷によって使用できないものがあります。</p>
 <p>落雪等でヒートシンクカバーが塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲い等の処置を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>	 <p>積雪時はヒートシンクカバーが塞がらないよう点検・除雪を行う 行わない場合、温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>
 <p>ヒートシンクカバーを塞いだりヒートシンクカバー付近に荷物を置いたりしない 温度上昇によりエラー発生する可能性があります。</p>	 <p>一般ゴミとして廃棄しない 本製品はリチウムイオン電池を内蔵しておりますので、ゴミ収集車内や集積場での発煙、発火の原因になります。 廃棄する場合は、お買い上げの販売会社へご相談ください。</p>

無線通信機器内蔵について

蓄電システムの室内リモコンには、電波法に基づく電力データ通信システムの無線局として、工事設計確認証を受けた無線設備を内蔵しています。

認証番号 201-220017
無線設備名 WE310F5-I



® 201-220017

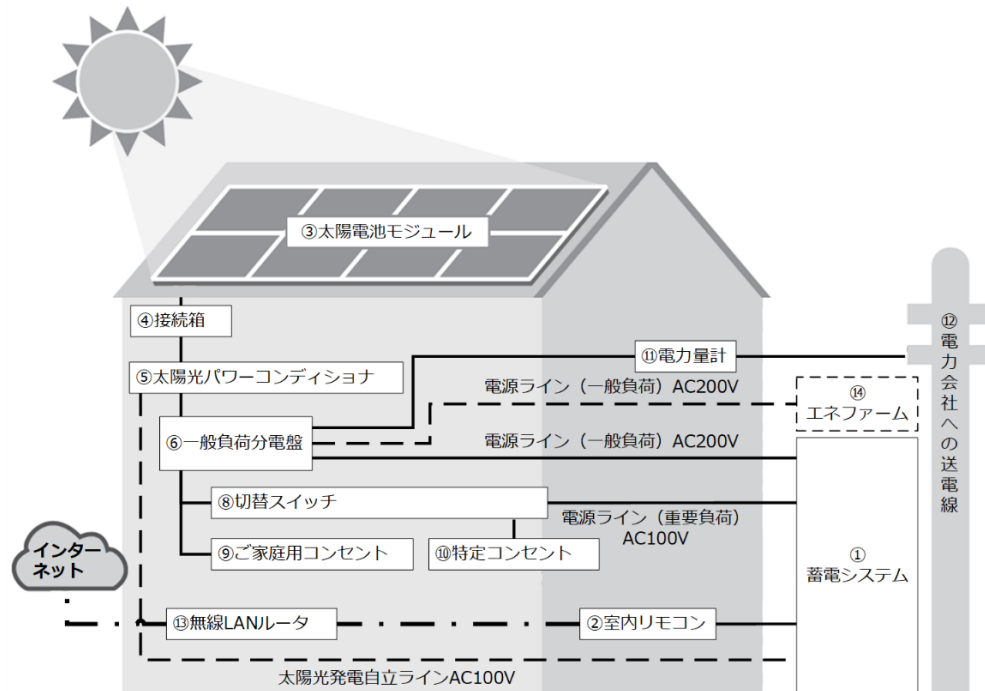
蓄電システムの構成 つづき

蓄電システム用分電盤を使用しないシステム構成

切替スイッチを使用する場合、切り替えることで平常時は系統から、停電時は蓄電システムから特定コンセントに電力供給を行えます。切替スイッチを使用しない場合、平常時は特定コンセントに電力供給が行われず、停電時のみ電力供給が行われます。

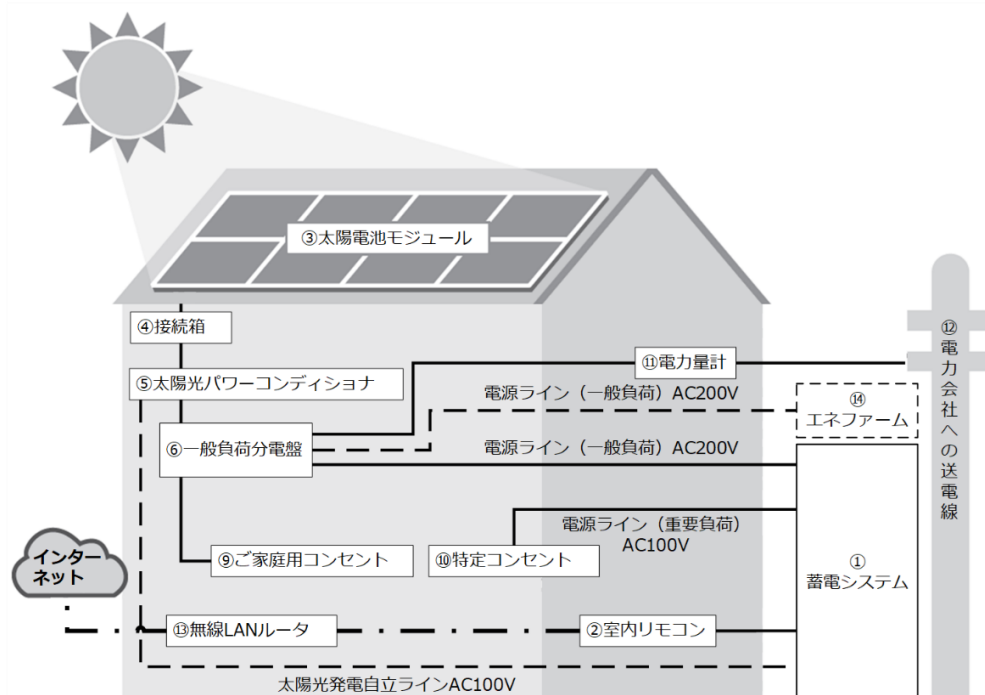
● 切替スイッチを使用する場合

特定コンセントへの電力供給元(蓄電システム/系統)を切り替えることができます。



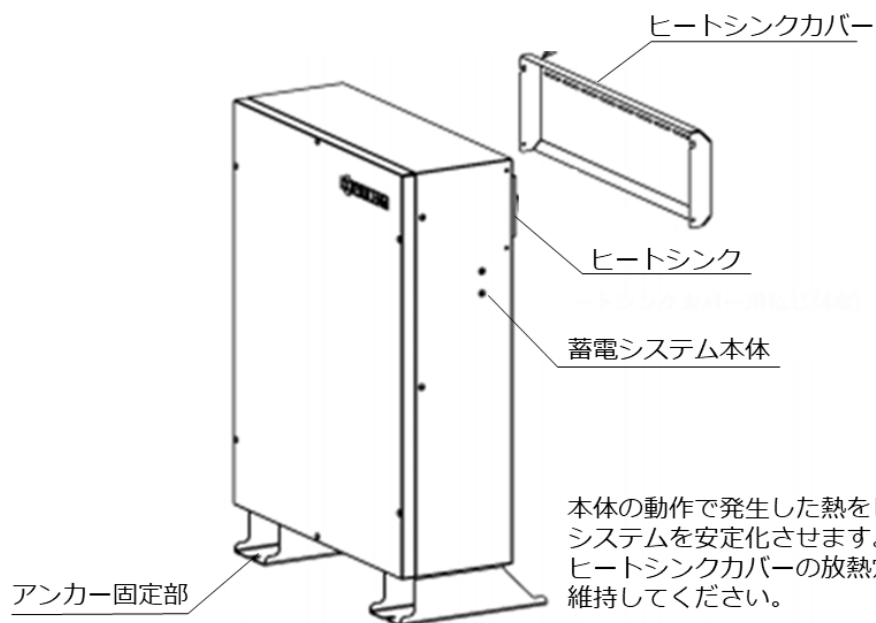
● 切替スイッチを使用しない場合

停電時にのみ特定コンセントに電力を供給します。

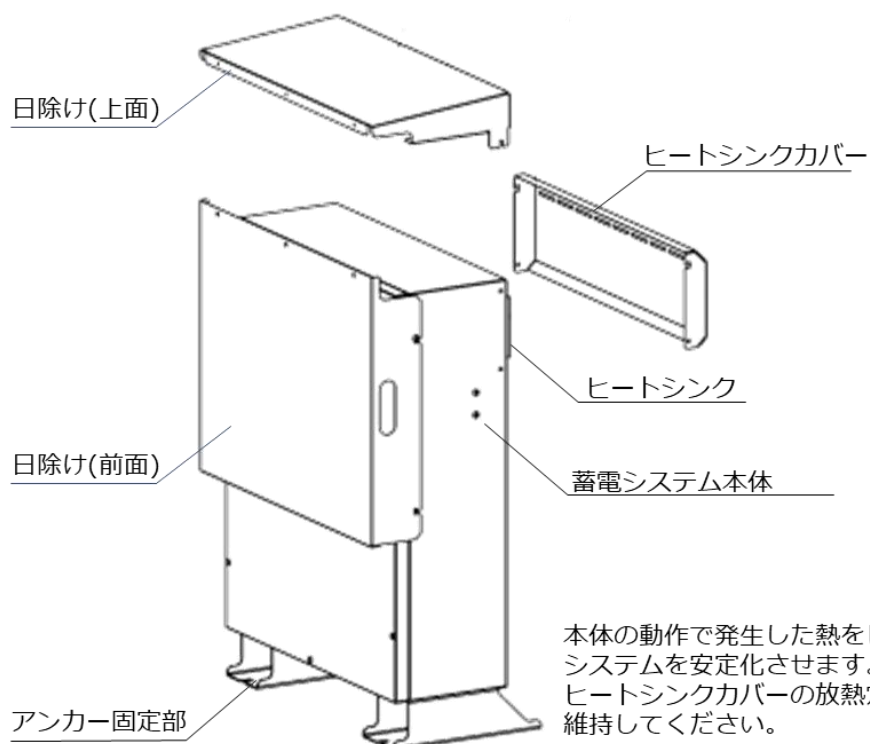


蓄電システム各部の名前

蓄電システム本体



蓄電システム本体(日除けオプション取り付け時)

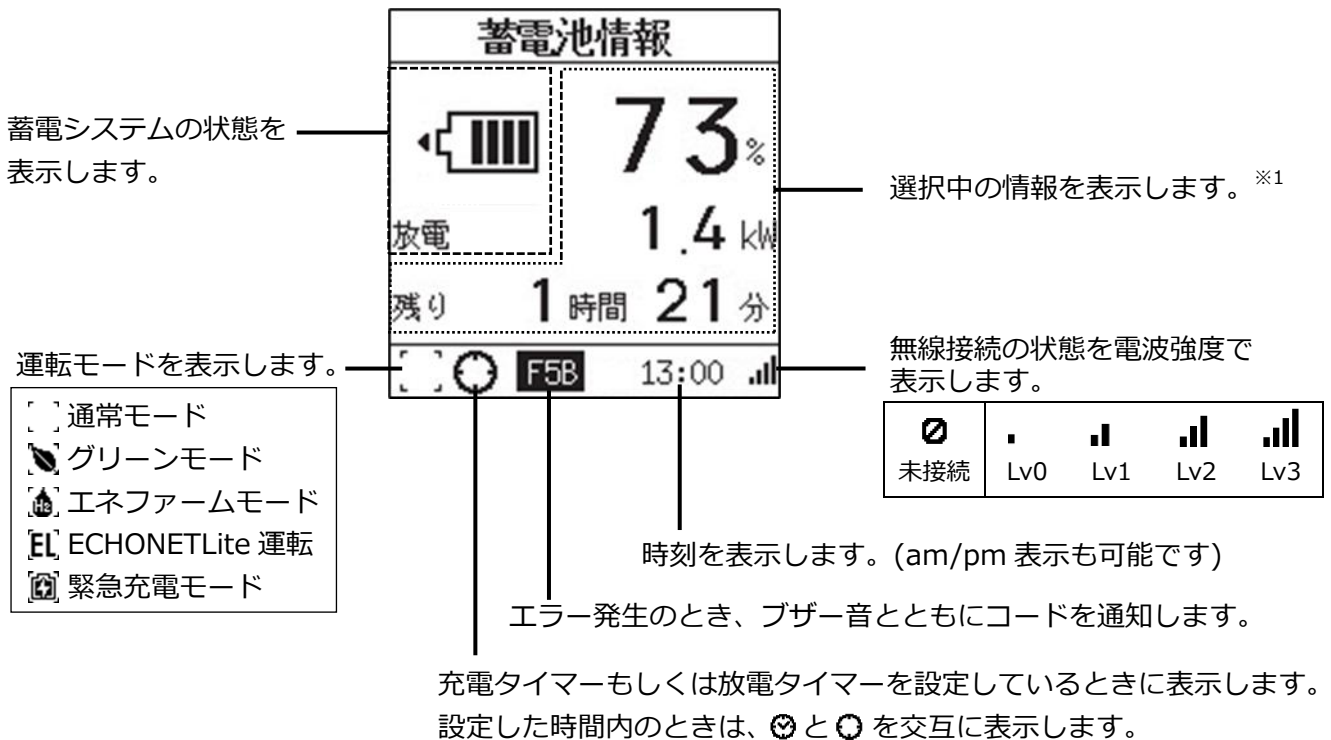


室内リモコン各部の名前とはたらき

室内リモコン本体

<p>④筐体内部 ⑤側面の開口部</p>	①アイコン		蓄電システムが運転時に緑に点灯し、停止時に消灯します。	
			自立運転時(停電時等)に緑に点灯し、連系時に消灯します。	
			エラー時に赤に点灯します。	
	②表示画面	蓄電池の状態、発電量、売買電力量、消費電力量を表示します。		
		③操作ボタン		蓄電池の状態を表示します。 (メニュー操作のときは上方向へ移動します) 緊急充電モードを開始または停止するにはボタン軽く長押し(約3秒)
			発電電力と発電電力量を表示します。 (メニュー操作のときは下方向へ移動します)	
			売買電力と売買電力量を表示します。 (メニュー操作のときは左方向へ移動します)	
			消費電力と消費電力量を表示します。 (メニュー操作のときは右方向へ移動します)	
			メニュー項目を開きます。	
			軽く長押し(3秒)=チャイルドロック (解除も軽く長押し3秒)	
	決定します。 前の画面に戻ります。			
④ブザー	ブザーが鳴ります。			
⑤リセットボタン	蓄電システムをリセットします。 (側面の開口部にあります)(➡P.44)			

室内リモコンの表示画面の見かた



※1：低温時は蓄電池の特性上、電池残量が急に低下することがあります。

その際に停止時の電池残量が0%でない場合や、放電下限SOC(➡P.26)と異なる場合があります。

室内リモコンの操作のしかた

画面表示を切り替える

操作ボタンで画面表示を切り替えます。

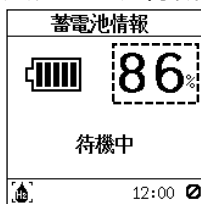
● 蓄電池情報の表示



(蓄電)ボタンを軽く押すと、蓄電池の放電電力、充電電力、電池残量、残り使用時間(自立運転時のみ)を表示します。

・待機中

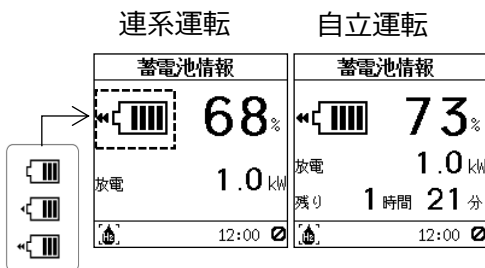
蓄電システムが、待機中のときに表示します。



電池残量は「0%」～「100%」の範囲で表示します。

・放電中

蓄電システムが、放電しているときに表示します。



放電状態をアニメーションで表示します。

電池残量は「0%」～「100%」の範囲で表示します。

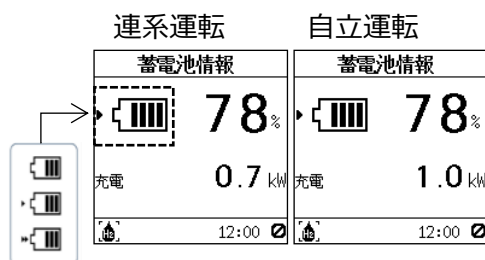
放電電力は連系運転時には「0.0kW」～「1.6kW」の範囲で表示し、自立運転時には「0.0kW」～「1.5kW」の範囲で表示します。残り使用時間は「0時間0分」～「99時間59分」の範囲で表示します。

●残り使用時間は、自立運転の時に表示し、連系運転の時は表示されません。

※残り使用時間はあくまでも目安です。負荷の使用状況によって変動します。

・充電中

蓄電システムが、充電しているときに表示します。



充電状態をアニメーションで表示します。

電池残量は「0%」～「100%」の範囲で表示します。


充電電力は連系運転時には「0.0kW」～「1.6kW」の範囲で表示し、自立運転時には「0.0kW」～「1.5kW」の範囲で表示します。


注：低温時は蓄電池特性上、電池残量が急に低下することがあります。



その際に停止時の電池残量が0%でない場合や、放電下限SOCと異なる場合があります。


また電池保護のため充放電電力が定格より小さくなる場合があります。

● 発電情報の表示

 (発電)ボタンを軽く押すと、発電情報を表示します。




発電情報	
	2.6 kW
発電量	15.4 kWh
	12:00


発電情報表示モードでは左上のアイコンが電気のマーク「」に変わります。
発電電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
発電電力量は当日（0:00～23:59）の積算値とし、
「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。
※契約設定が「電池のみ」でエネファームを併設しない場合、
「発電情報は表示できません。」というメッセージが表示されます。

発電状態をアニメーションで表示します。

● 売買情報の表示


 (売買)ボタンを軽く押すと、売買情報を表示します。



・ 売買なし



売買情報	
	売買なし
売電量	2.8 kWh
買電量	2.1 kWh
	12:00

売買電力は、「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
買電電力量、売電電力量は当日（0:00～23:59）の積算値とし、
「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。
※停電中は、売買情報を表示できません。(⇒P.16)
その際は、「停電中の為、売買情報は表示できません。」というメッセージが表示されます。

・ 売電中、買電中





売買情報	
	1.8 kW
売電量	6.2 kWh
買電量	2.1 kWh
	12:00



売電の状態になると、左上のアイコンが「 (売)」の表示になり、矢印が点滅します。
買電の状態になると、左上のアイコンが「 (買)」の表示になり、矢印が点滅します。


売買状態をアニメーションで表示します。

● 消費情報の表示

 (消費)ボタンを軽く押すと、消費情報を表示します。



消費情報	
	2.7 kW
消費量	9.1 kWh
	12:00

消費情報表示モードでは左上のアイコンがコンセント「」に変わります。
消費電力は「0.0kW」～「99.9kW」の範囲で表示します。
消費電力量は当日（0:00～23:59）の積算値とし、
「0.0kWh」～「999.9kWh」の範囲で示し、深夜0時でリセットします。

消費状態をアニメーションで表示します。

室内リモコンの操作のしかた つづき

● 操作ボタン(選択ボタン)で画面表示する電力

< >内は契約設定(⇒P.43)

設置機器	運転モード	蓄電	発電	消費	売買電
蓄電池 <電池のみ>	通常モード	蓄電池の電力	表示できません。	住宅の消費電力	系統の電力
蓄電池 太陽電池(PV) <シングル>※1	通常モード グリーンモード	蓄電池の電力	PVの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：PVの電力
蓄電池 太陽電池(PV) <ダブル>※2	通常モード	蓄電池の電力	PVの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：PVの電力
蓄電池 エネファーム(EF) <エネファーム 100V、200V>	エネファーム モード	蓄電池の電力	EFの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：EFの電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <エネファーム 100V、200V>	エネファーム モード	蓄電池の電力	PVの電力 + EFの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：PVの電力 + EFの電力
蓄電池 エネファーム(EF) <電池のみ>	通常モード	蓄電池の電力	EFの電力	住宅の消費電力	系統の電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <シングル>※1	通常モード グリーンモード	蓄電池の電力	PVの電力 + EFの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：PVの電力
蓄電池 太陽電池(PV) エネファーム(EF) <ダブル>※2	通常モード	蓄電池の電力	PVの電力 + EFの電力	住宅の消費電力	買電：系統の電力 売電：PVの電力
蓄電池 自立運転	自立運転	蓄電池の電力	PVの自立電力※3	特定コンセント の電力	表示できません。

※1：シングルとは、太陽電池で発電した電力が、自家消費分を上回り売電し始めると、蓄電池の放電が止まります。

※2：ダブルとは、太陽電池で発電した電力を売電しているときも、蓄電池から放電します。

※3：PVの自立電力が蓄電池に接続されている場合。

運転する

通常の連系運転

電力会社からの電力または太陽電池やエネファームで発電した電力、蓄電した電力を一般負荷分電盤に供給します。

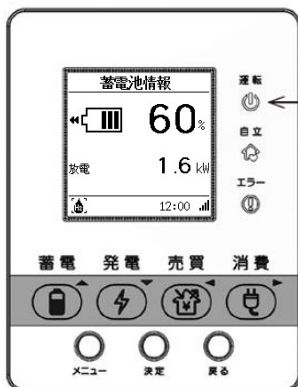
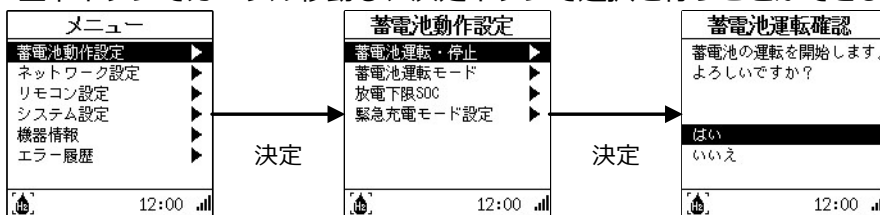
●運転を開始する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が開始します。

●上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



蓄電システムが運転後、ランプが緑に点灯します。

運転する つづき

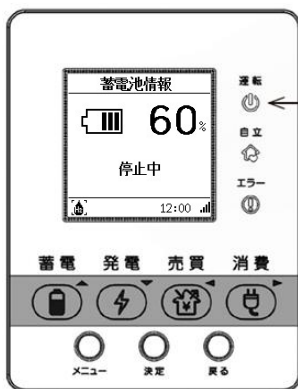
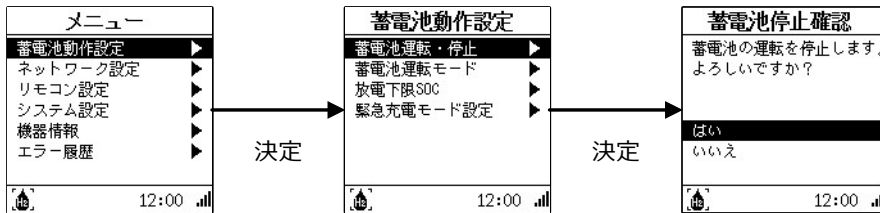
● 運転を停止する

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転・停止を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

蓄電池の運転が停止します。

●上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



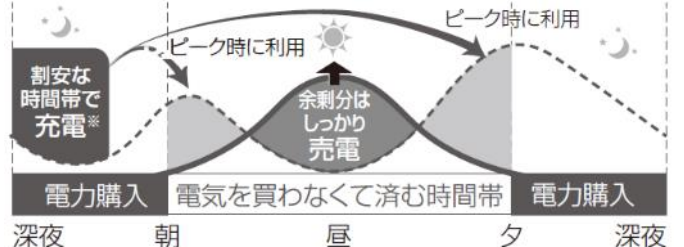
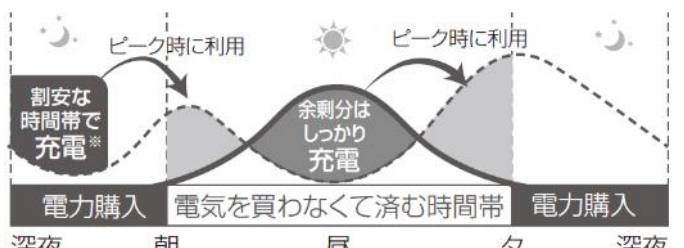
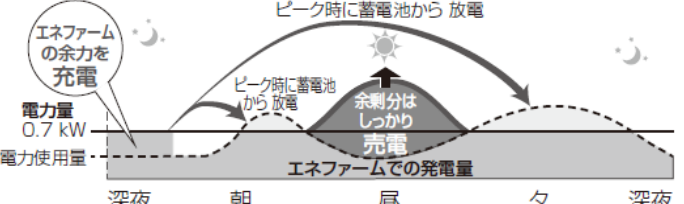
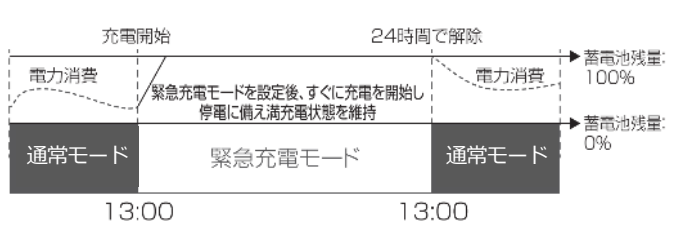
蓄電システムが停止後、ランプが消灯します。

※運転停止中は、蓄電池が動作しないため、忘れずに運転を開始してください。(➡P.17)

運転停止中でも蓄電池の電池残量が少なくなった場合は、蓄電池の過放電保護のため、自動的に充電する場合があります。

運転モードを選ぶ

● 4通りの運転モード

<p>通常モード</p> <p>太陽電池の発電電力の売電を優先するモードです。電気料金が割安な時間帯に蓄電システムに貯えた電力を災害等の備えを考慮して設定した蓄電池の下限容量まで利用することで電気料金を節約します。</p> <p>※充放電時間の設定(⇒P.27～P.29)</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと、自動的に強制充電動作に移行します。</p>	 <p>※時間帯別の電気料金をご利用の場合</p>
<p>グリーンモード</p> <p>昼間、太陽電池で発電した余剰電力で蓄電システムを充電し、その電力を夜間に使用して購入電力量を削減します。夜間に使用した電力は電気料金が安い時間帯に充電して太陽電池の発電量が少ない翌朝に使用することで電気料金の削減も可能です。</p> <p>※電池残量が100%のときは余剰電力を売電します。</p> <p>※蓄電池の過放電の状態が長く続くと強制充電に移行します。</p>	 <p>※時間帯別の電気料金をご利用の場合</p>
<p>エネファームモード</p> <p>電気をあまり使わないときにエネファームで発電した電力を充電し、たくさん電気を使うときに放電することで、電気料金の節約が可能になります。</p> <p>※蓄電池が過放電の状態が続くと、自動的に強制充電動作に移行します。</p>	
<p>緊急充電モード</p> <p>非常時の停電に備えて電力を貯めることを目的として使用するモードです。緊急充電モードを開始した場合、蓄電池残量100%まで充電し、その状態を維持します。緊急充電モード設定後24時間経過で解除し、設定前のモードに戻ります。</p>	

●通常モードまたはグリーンモードでエネファームを併設してご使用されると、電気のご使用量がエネファームの発電量よりも少ないとき、蓄電池から放電しません。また充電時は、系統より買電する場合があります。

契約設定により、設定できる運転モードが異なりますので、ご注意ください。

契約設定 ^{※1}	設定可能な運転モード
シングル	通常モード、グリーンモード、緊急充電モード ^{※2}
ダブル、電池のみ	通常モード、緊急充電モード ^{※2}
エネファーム 100V、200V	エネファームモード、緊急充電モード ^{※2}

※1：契約設定を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

※2：緊急充電モードの設定方法は他のモードとは異なりますのでご注意ください。

手動設定の場合：お客様が状況を見て、操作し、緊急充電モードを開始する。(⇒P.22)

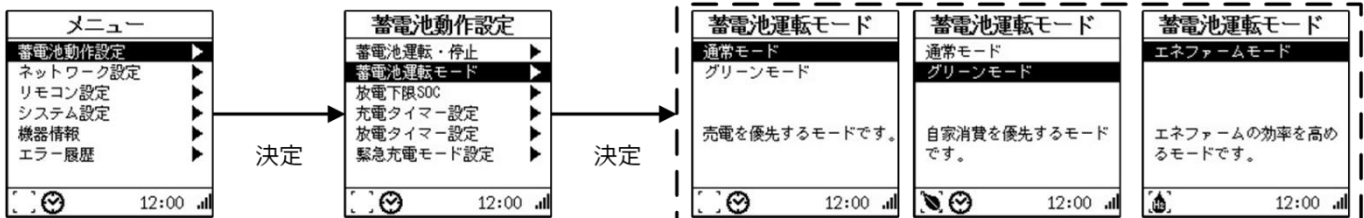
自動設定の場合：気象情報をネットワーク経由で自動的に判断し、緊急充電モードを開始する。(⇒P.23)

運転モードを選ぶ つづき

●蓄電池運転モードの切り替え方法

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

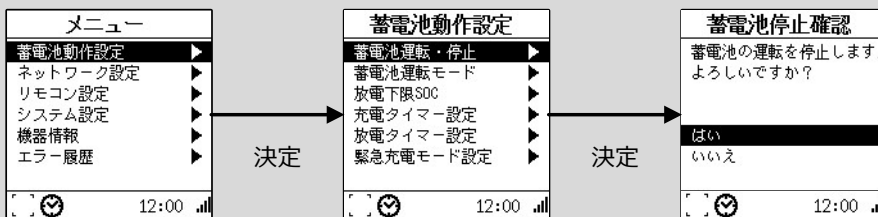
2 メニュー→蓄電池動作設定→蓄電池運転モードから上下ボタンで設定したい蓄電池運転モードを選び、決定ボタンを軽く押す



※施工時に選択された契約設定によって、選択可能な運転モードが異なります。

- シングル契約 : 通常モードまたはグリーンモード
- ダブル契約 : 通常モード
- エネファーム契約 : エネファームモード
- 電池のみ契約 : 通常モード

注：蓄電池が運転中の場合は、蓄電池動作設定の「蓄電池運転・停止」を選択し、運転を停止してからモードを選択してください。



■ 知っておいていただきたいこと

● 通常モード、グリーンモードでお使いの場合の動作について

電気の使用量が多い場合、電池の残量0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{※1}になります。故障ではありません。

※1： 室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。電池残量が10%に到達すると強制充電を終了します。

通常モードまたはグリーンモードでエネファームを併設してご使用の場合は、電気のご使用量がエネファームの発電量よりも少ないとき、蓄電池から放電されません。また、住宅の消費電力およびエネファームの発電電力が室内リモコンに正しく表示されません。

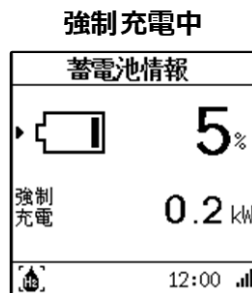
● エネファームモードでお使いの場合の動作について

電気の使用量が多いときなど、電池の残量 0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{※1}や待機状態になります。故障ではありません。

住宅内の電気は、その電気配線方法により2つのグループ（U相、W相）に分かれています。本製品の放電は、2つのグループのうち、いずれか電気のご使用量の少ない方にあわせて制御を行います。

これは、蓄電池からの放電が商用電源に逆潮流することを防止するための措置であり、住宅全体の電気のご使用量に対して、放電量が少なくなることがありますが、異常ではありません。

※1： 室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。電池残量が 30%に到達すると強制充電を終了します。



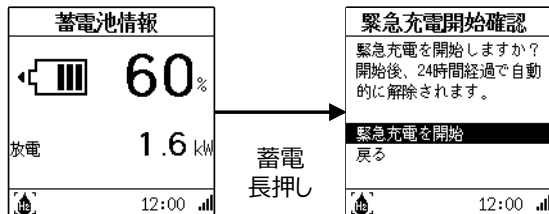
運転モードを選ぶ つづき

● 緊急充電モードを開始/停止する方法(手動切替)

1 緊急充電中でない状態で蓄電ボタンを長押しする(約 3 秒)

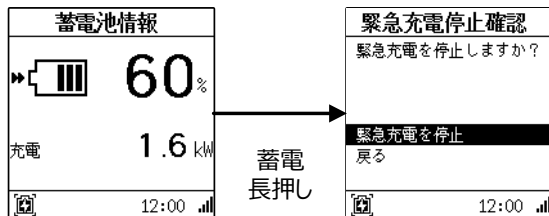
2 緊急充電開始確認から上下ボタンで「緊急充電を開始」を選び、決定ボタンを軽く押す

緊急充電中でない



●緊急充電中の場合、同様の操作で停止できます。

緊急充電中



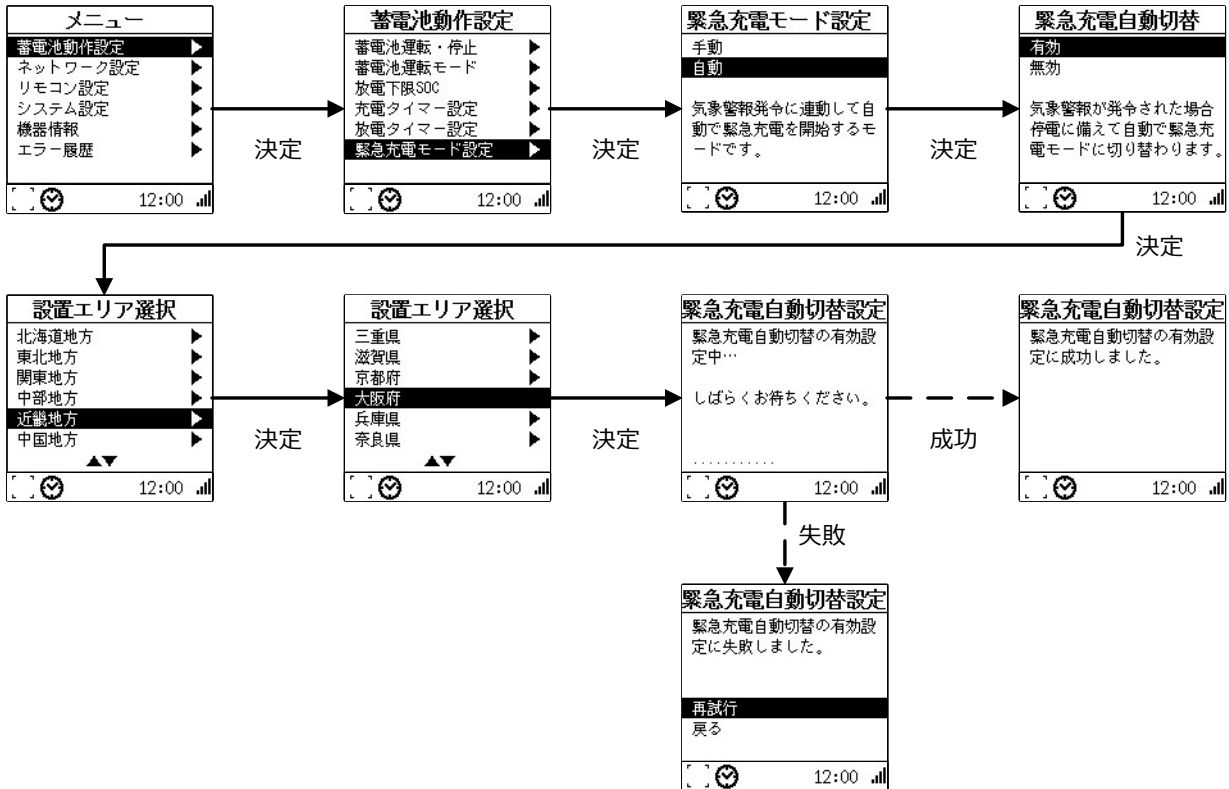
※メニュー→蓄電池動作設定→緊急充電モード設定→手動からでも緊急充電モードの開始/停止(手動切替)が可能です。

● 緊急充電モードを自動で開始させるための設定方法(自動切替)

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→緊急充電モード設定から自動を選び、決定ボタンを軽く押す

気象警報の発令で緊急充電モードを開始させる場合は、緊急充電自動切替を有効に、気象警報の発令で緊急充電モードを開始させない場合は、緊急充電自動切替を無効に設定してください。



※有効設定に失敗した場合、ネットワーク設定の見直し後、再度緊急充電モード自動切替を有効に設定してください。

停電になったときは

停電が発生した場合

停電を検知すると、本システムは自立運転に切り替わり、特定コンセントへの放電を開始します。(ただし、室内リモコンが消灯していると、自立運転を行いません)

- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「蓄電」側にしてください。切替スイッチを「系統」側のままの場合、停電時は特定コンセントに電気が供給されません。
- 停電中は室内リモコンの自立アイコンが緑に点灯します。(➡P.12)
- 停電時に本システムが自立運転を開始していないときは、「通常の連系運転」と同じ手順で運転を開始してください。(➡P.17)
- 蓄電システム用分電盤を使用せずに特定コンセントを使用している場合に、本システムからの電力の供給を遮断するときは、特定コンセントから家電製品を抜いてください。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電する場合は、太陽光発電システムの運転モードを停電中でも発電するように切り替える必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。
- 太陽光発電システムの発電電力が特定コンセントの電気製品を稼働させ、さらに余剰が出た場合に、本システムが充電されます。
※太陽光発電システムからの給電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。
- 太陽光発電システムの発電電力が少なくなり、特定コンセントの電気製品の消費電力を賄いきれなくなった場合に、太陽光発電システムは出力を停止し、本システムからの放電に切り替わります。
※蓄電システムの自立出力による給電に切り替わる瞬間に一瞬の停電が起こります。

停電から復旧した場合

停電から復旧すると、本システムは停電前の連系運転モードに戻ります。

- 特定コンセント用に手動の切替スイッチを使用している場合は、切替スイッチを「系統」側にしてください。
- 電力会社との協議で定められた時間内(最大5分)は、復電しても停電時の動作になります。復電後、電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本システムは通常時のモードで動作します。
- 停電中に太陽光発電システムの発電電力を本システムに充電するために、太陽光発電システムの運転モードを切り替えていた場合は、太陽光発電システムの運転モードを戻す必要があります。太陽光発電システムの運転モードの切り替え方法は、ご使用の太陽光発電システムの取扱説明書を参照してください。

停電時に電池残量がなくなってしまった場合

停電時に電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が続くと本体保護でシステムがシャットダウンします。

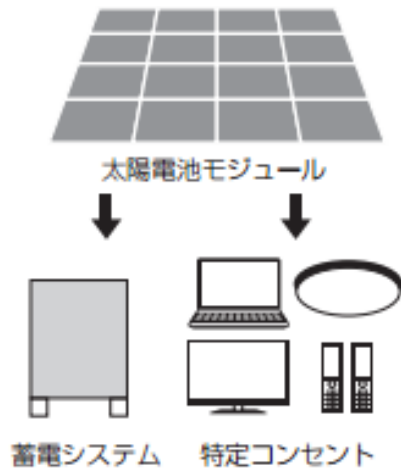
シャットダウンした場合は、「こんなときは～特定コンセントに接続している家電製品が動かない場合～(➡P.47)」に記載の手順で蓄電池の充電を行ってください。

停電時の給電について

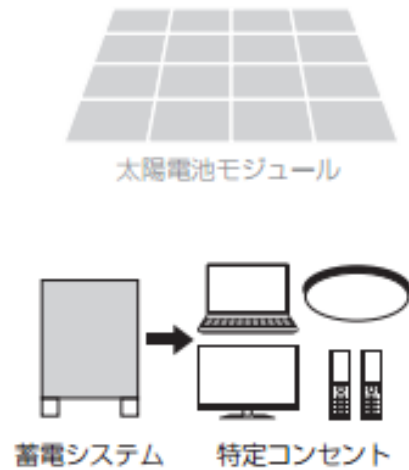
■ 太陽光発電システムの自立出力が蓄電システムに接続されている場合

太陽電池で発電した電力と特定コンセントの負荷電力の大小で太陽光給電と蓄電池給電を自動で切り替えます。

太陽光発電システムの発電量 > 電力消費量



太陽光発電システムの発電量 < 電力消費量



● 太陽光発電システムの発電量 > 電力消費量の場合

太陽電池から特定コンセントへ給電し、余剰電力を蓄電システムに充電します。
特定コンセントでの消費電力が大きいと充電できない場合があります。
太陽電池で発電した電力が小さい場合は蓄電池給電に切り替わります。

● 太陽光発電システムの発電量 < 電力消費量の場合

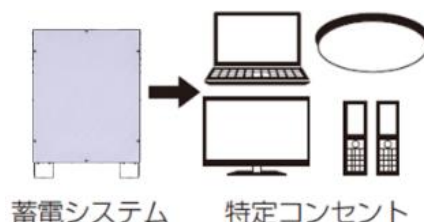
蓄電システムから特定コンセントへ給電します。
電池残量がなくなった場合は蓄電システムが停止し、特定コンセントへの給電を停止します。

- 全ての太陽光パワーコンディショナについて本製品の動作を保証するものではありません。機種によっては、本製品の充電に必要な電力を発電していても、電磁ノイズの影響などで充電が正常に行われられない可能性があります。
- 太陽光パワーコンディショナの自立出力は、天候の変化などによって不安定になります。発電量が PV 自立引込電流で設定した電流値に必要な電力を下回った場合、太陽光パワーコンディショナが過負荷(出力が足りない状態)を検出して停止することがあります。停止した場合は本製品への充電を中止し、天候の回復を待ってから充電を試みてください。
- 過負荷の状態でも本製品への充電を継続した場合、太陽光パワーコンディショナの機種によっては自立出力の自動復帰と停止を繰り返すことがあります。(自立出力が停止している間は、本製品の蓄電池から接続機器へ電力を供給します)
- 特定コンセントに接続している機器の電流波形によっては機器の消費電力が本製品の最大出力値以内であっても太陽光パワーコンディショナが過負荷となり自立出力を停止する場合があります。

■ 太陽光発電システムの自立出力が蓄電システムに接続されていない場合

蓄電システムから特定コンセントに給電を行います。

電池残量がなくなった場合は蓄電システムが停止し、特定コンセントへの給電を停止します。



放電を停止する電池残量を設定する

系統連系運転時の放電を停止する電池残量(放電下限 SOC)を設定できます。

本設定は停電時に電池残量を残しておくための設定となります。

なお、電気のご使用状況等によっては、設定した電池残量を大幅に下回らないよう、補充電が行われます。

自立運転時は、放電時の放電停止の電池残量は0%です。

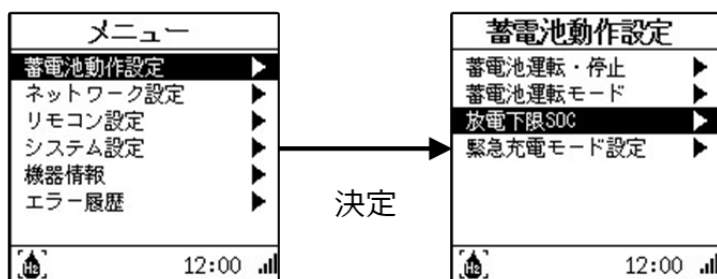
工場出荷時	30%
-------	-----

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電下限 SOC を選択し、放電下限 SOC の設定をする

放電下限 SOC の画面が表示されます。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



3 上下ボタンで下限値を設定し、決定ボタンを軽く押す

上下ボタンで、0～100%の範囲内において10%刻みで選択可能です。



充放電の時間を設定する

運転時の充電開始/停止時刻、放電開始/停止時刻を設定できます。

運転モードが通常モードの場合、充電タイマーと放電タイマーの両方が設定できます。充電タイマーは常に有効であり、充電開始/停止時刻のみ設定できます。また、放電タイマーを「有効」に設定しなくても、充電タイマー時間外の場合は負荷容量に合わせて放電(最大1.6kW)します。

運転モードがグリーンモードの場合、充電タイマーと充電上限SOCを設定できます。充電上限SOCは充電タイマー時間内のみ適用されます。充電タイマー時間外、グリーンモード以外のモードで動作している場合、充電上限SOCは100%です。

※周囲温度が低い場合や高い場合、設定された充電タイマー時間内に100%にならない場合がありますが、故障ではありません。

※充放電タイマーの設定時間は運転モードに連動していますので、運転モードを変更した場合は設定を再確認してください。

※通常通常モード、グリーンモード以外ではこの設定を使用できません。

工場出荷時	通常モード	: 充電タイマー(有効固定: 23:00~6:59)、放電タイマー(無効: 7:00~22:59)
	グリーンモード	: 充電タイマー(有効: 23:00~6:59)、充電上限 SOC(50%)

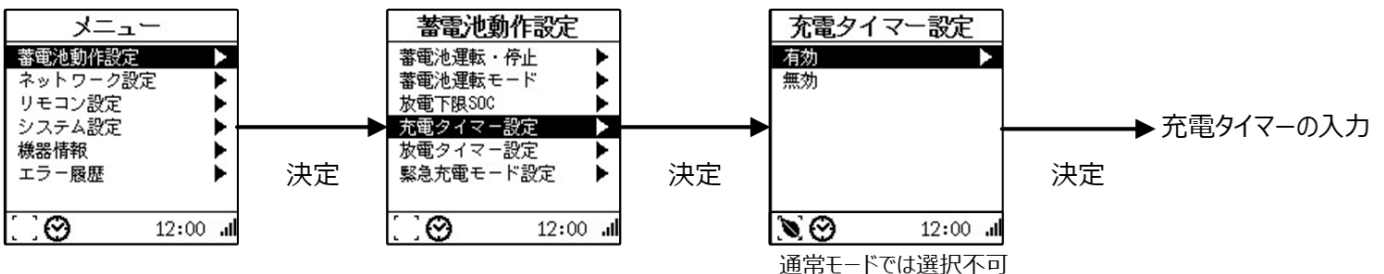
●充電タイマーの設定 (通常モード、グリーンモードのみ設定可能)

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→充電タイマー設定から、充電タイマーの設定をする

グリーンモード時に設定不要の場合は「無効」を選択してください。

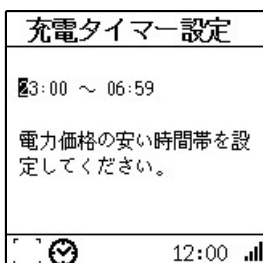
●上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



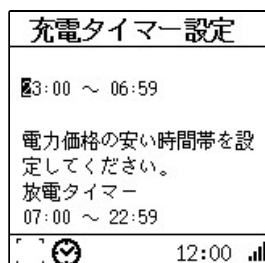
●放電タイマーが無効もしくは有効のとき、充電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

※放電タイマーと設定期間が重複した場合、下記警告が表示されます。警告に従い、期間が重複しないように再度設定してください。

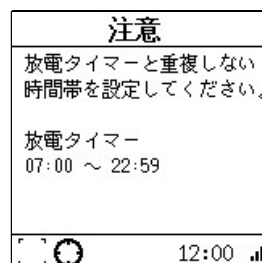
放電タイマー無効の場合



放電タイマー有効の場合



放電タイマーと重複した場合



充放電の時間を設定する つづき

グリーンモードの場合は、充電タイマー設定後に充電上限 SOC を設定してください。
50～100%の範囲内において 10%刻みで選択可能です。



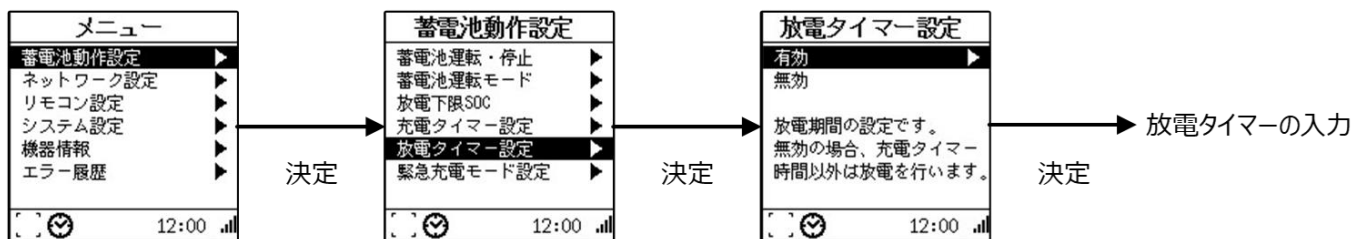
●放電タイマーの設定（通常モードのみ設定可能）

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→蓄電池動作設定→放電タイマー設定から、放電タイマーの設定をする

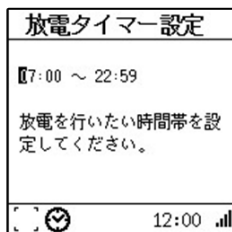
設定不要の場合は「無効」を選択してください。

●上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。

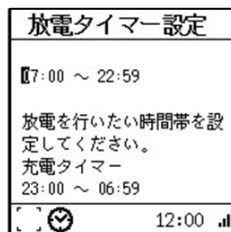


●充電タイマーが無効もしくは有効のとき、放電タイマー設定では以下の画面が表示されます。

充電タイマー無効の場合

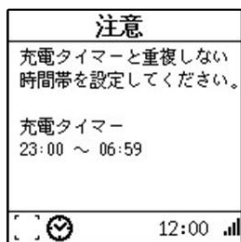


充電タイマー有効の場合



※充電タイマーと設定期間が重複した場合、下記警告が表示されます。警告に従い、期間が重複しないように再度設定してください。

充電タイマーと重複した場合



PV 自立引込電流を設定する

PV の自立引込電流を設定できます。

PV 自立引込電流とは、停電時に太陽光パワーコンディショナの自立出力から蓄電池に充電する際の充電量の上限を設定するものです。太陽光パワーコンディショナの発電電力と蓄電システムと接続している家電製品の電力使用量とを比較判断しながら、設定された電流値を超えない範囲で蓄電池は充電を行います。太陽光パワーコンディショナの出力がある間は蓄電池から放電できません。

自立運転時に太陽光発電システムが発電しているにも関わらず、蓄電システムに充電出来ていない場合に、本設定を変更してください。

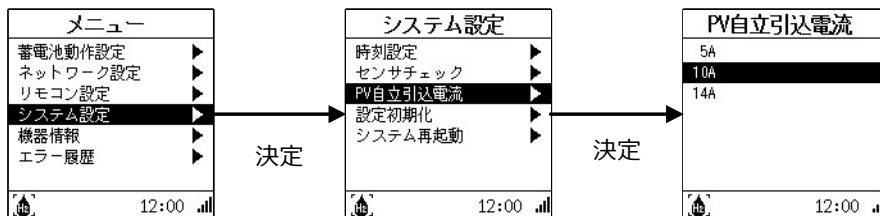
- 通常は設置工事時の値から設定を変更する必要はありません。
- 本設定は施工時に「補助入力なし」に設定した場合は変更出来ません。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→PV 自立引込電流を選び、決定ボタンを軽く押す

設定の方法は、「5A」、「10A」または「14A」を選択します。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



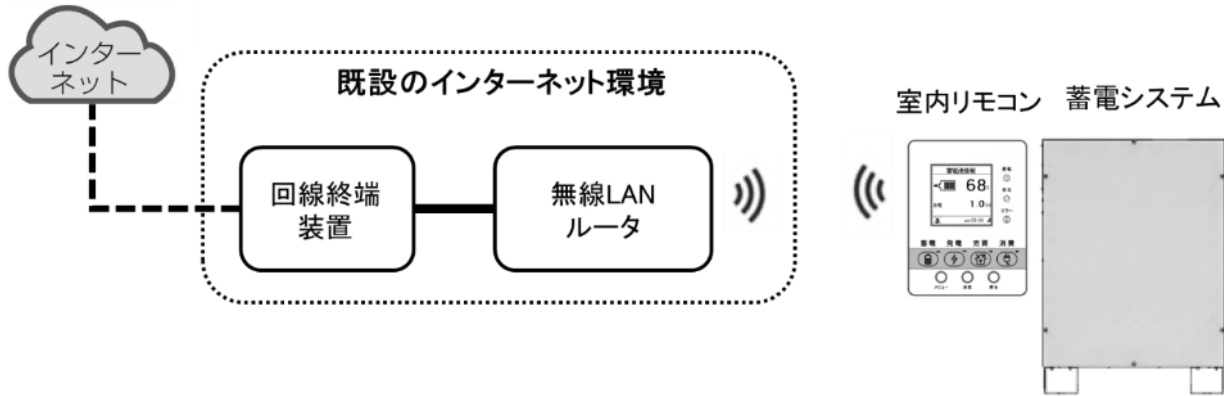
【設定目安】

- 5A：太陽光発電システムの自立出力が約 1.2kW 未満
- 10A：太陽光発電システムの自立出力が約 1.2kW 以上 1.8kW 未満
- 14A：太陽光発電システムの自立出力が約 1.8kW 以上

ネットワークの設定をする

本システムでは、緊急充電モード自動切替(➡P.23)、今後追加予定のサービスなどをご利用いただくため、インターネットへの接続を推奨しております。

本手順は、ネットワーク設定が未設定、もしくはネットワーク設定を変更する場合に必要となります。既にインターネットに接続されている場合、「ネットワークの設定をする」の手順は不要です。



※本システムは IEEE802.11 b/g/n 2.4GHz の無線 LAN 規格に対応しています。ご家庭の無線 LAN ルータが規格に対応するものかどうかをご確認ください。

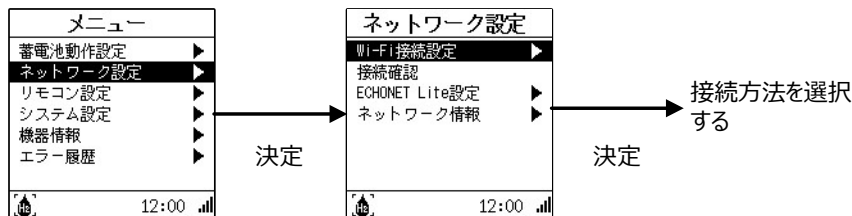
工場出荷時	ECHONETLite 設定：取得のみ有効
-------	-----------------------

●Wi-Fiの接続設定をする

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→ネットワーク設定→Wi-Fi 接続設定から、それぞれの接続方法を設定する

•上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。




Wi-Fi 接続設定は、「WPS-PBC 接続」、「選択接続」、「手動接続」から選びます。

WPS-PBC 接続	WPS プッシュボタン方式を使用し、無線 LAN ルータとの接続設定を自動的にを行います。
選択接続	周囲の Wi-Fi を検索し、接続先を選択して接続できます。
手動接続	無線 LAN ルータの SSID、接続するためのセキュリティ設定、パスワード、IP 設定を行います。

※WPS は、Wi-Fi Protected Setup の略で、無線 LAN 端末と簡単に無線接続させるための機能です。

無線 LAN ルータに「WPS」「AOSS」「らくらく無線スタート」と表記されたボタンがある場合は、「WPS-PBC 接続」を選択し接続を試みてください。上記のボタンがない場合は、「選択接続」または「手動接続」を選択し接続を試みてください。

設定の詳細は「無線 LAN ルータとの接続手順」(➡P.32~34)をご確認ください。

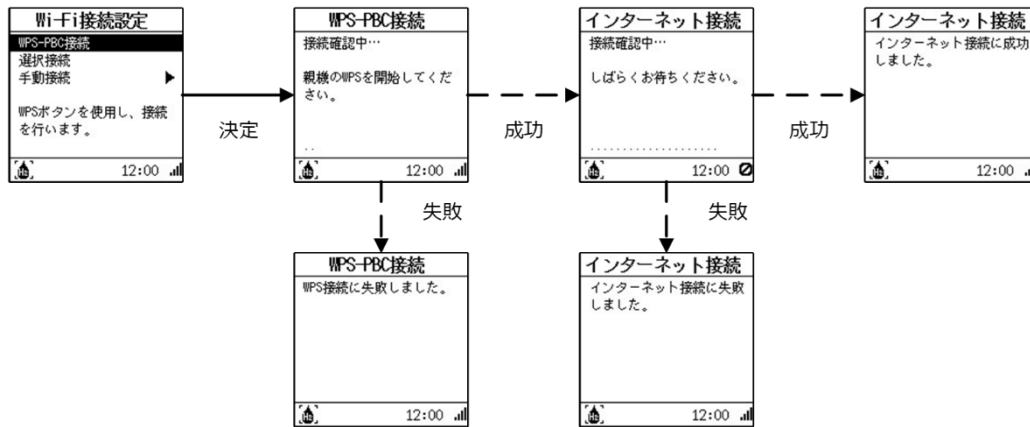
室内リモコンと無線 LAN ルータとの接続が完了すると、画面右下に  が表示されます。

ネットワークの設定をする つづき

無線LANルータとの接続手順

●WPS-PBC接続を使用する場合

Wi-Fi 接続設定から「WPS-PBC 接続」を選び、決定ボタンを軽く押し、接続する無線 LAN ルータと WPS 接続を開始する



※無線 LAN ルータ側の WPS を開始する方法は、お手持ちの無線 LAN ルータの取扱説明書をご確認ください。

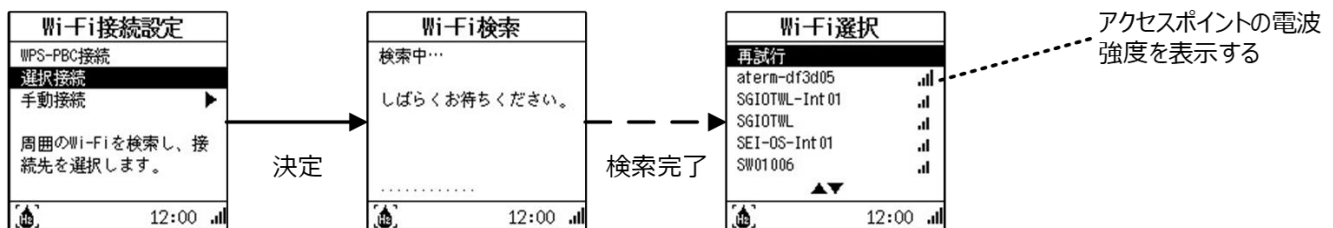
※失敗した場合、接続設定をやり直してください。それでも接続できない場合、

『●選択接続を使用する場合』『●手動接続を使用する場合』をお試しください。

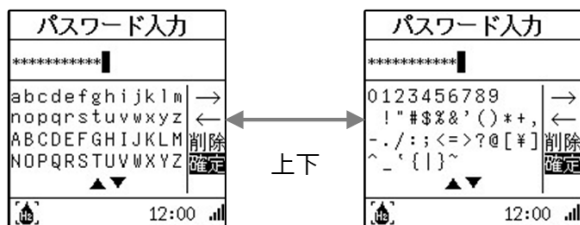
●選択接続を使用する場合

①Wi-Fi 接続設定から「選択接続」を選び、決定ボタンを軽く押す

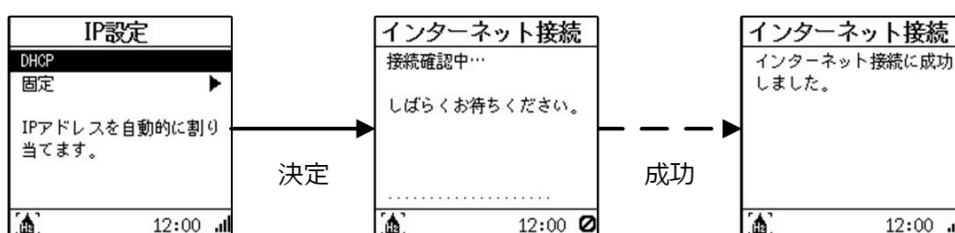
②上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定ボタンを軽く押す



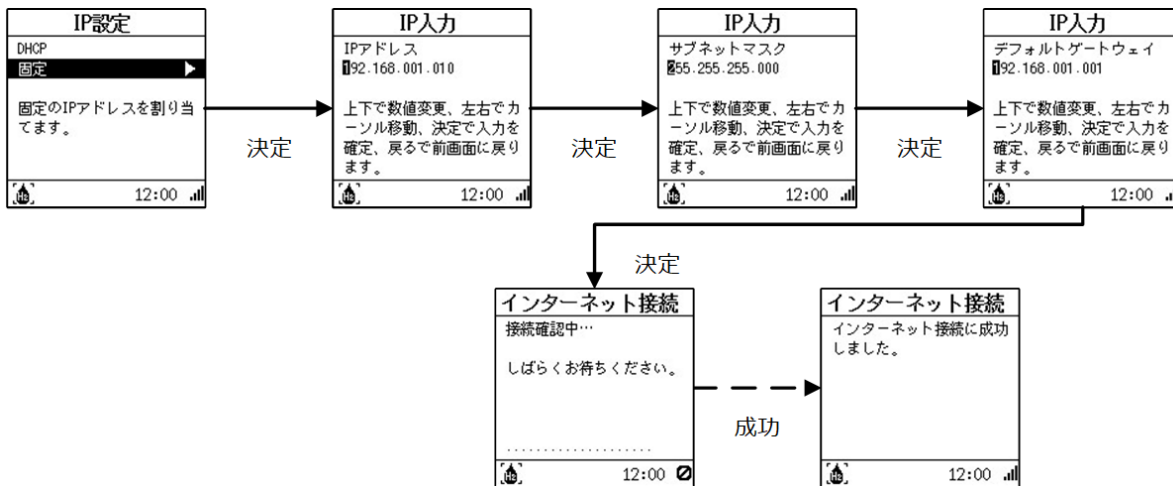
③セキュリティ設定が必要なアクセスポイントを選択した場合、パスワード入力画面になるので無線 LAN ルータに記載のパスワードを入力し、「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す「アルファベット」と「数字記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。



④IP の設定を行う



IP 設定が「固定」の場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。

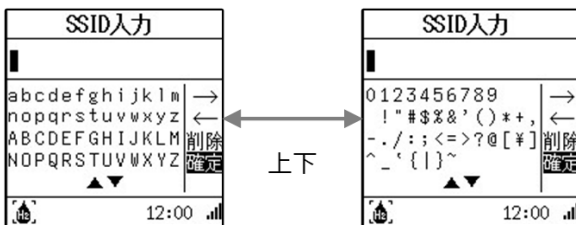


● 手動接続を使用する場合

① Wi-Fi 接続設定から「手動接続」を選び、決定ボタンを軽く押す



② 上下ボタンで接続するアクセスポイントを選び、決定ボタンを軽く押す

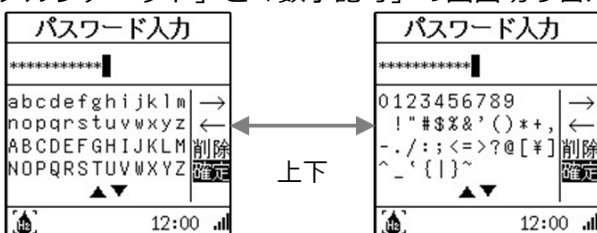


③ セキュリティ設定、「なし」または「WPA/WPA2/WPA3-PSK」を右ボタンまたは決定ボタンで選択する



④ セキュリティ設定が WPA/WPA2/WPA3-PSK の場合、無線 LAN ルータに記載のパスワードを入力し「確定」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

「アルファベット」と「数字記号」の画面切り替えは、上下ボタンで移動します。



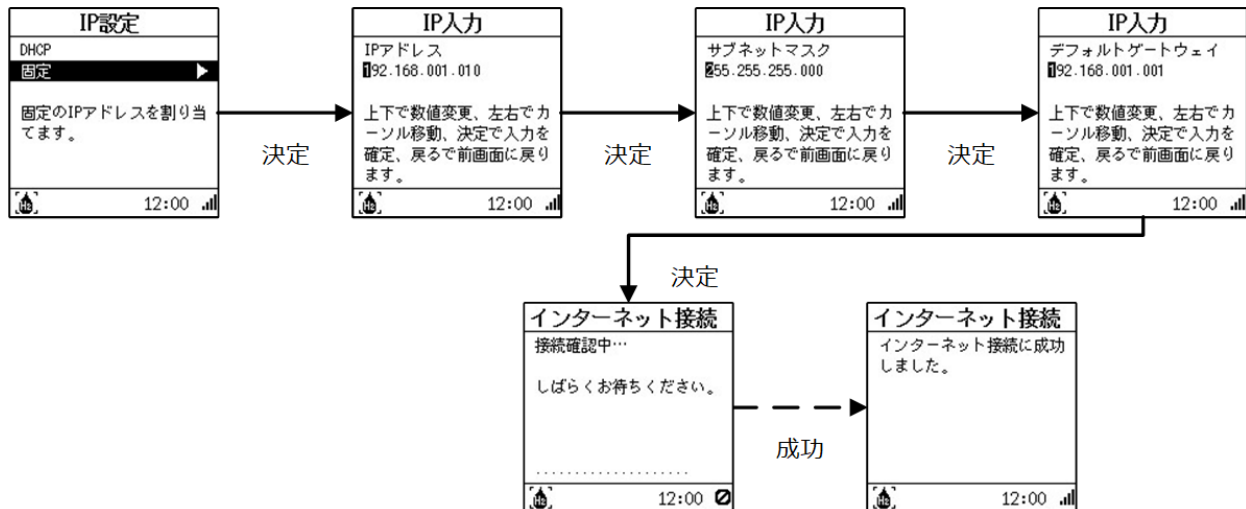
ネットワークの設定をする つづき

⑤IPの設定を行う

※基本的には「DHCP」を選択してください。「固定」を選択して正しい設定が行われなかった場合、ネットワークの接続ができなくなる可能性があります。

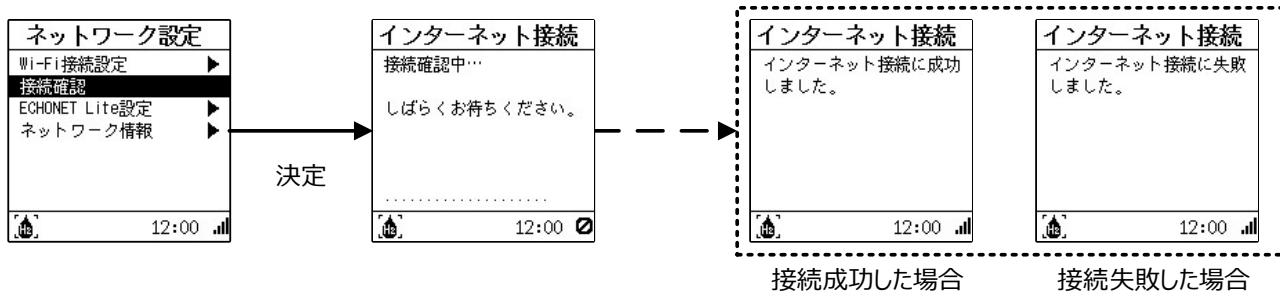


IP設定が「固定」の場合は、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の設定を行ってください。



●インターネットへの接続確認手順

- ①室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- ②メニュー→ネットワーク設定→接続確認を選び、決定ボタンを軽く押す



※接続の確認には数分程度の時間がかかる場合があります。

※Wi-Fiが正しく接続できている場合は、室内リモコンの画面右下(⇒P.13)に電波強度のアンテナが表示されます。また、ネットワーク情報(⇒P.36)にSSID、IPアドレスの接続情報が表示されます。

※接続できない状態が継続した場合、「N02：WLAN切断状態が継続しています。」または「N03：インターネットへ接続できない状態が継続しています。」のメッセージが表示されます。対処方法については「メッセージの種類」(⇒P.55)をご確認ください。

●ネットワーク設定にあたってのお知らせ事項

ネットワーク設定に伴い、本製品の保守品質改善を目的として、ネットワークを介して、製造元またはその委託先から機器の稼働状況などのデータを定期的に収集させていただきます。

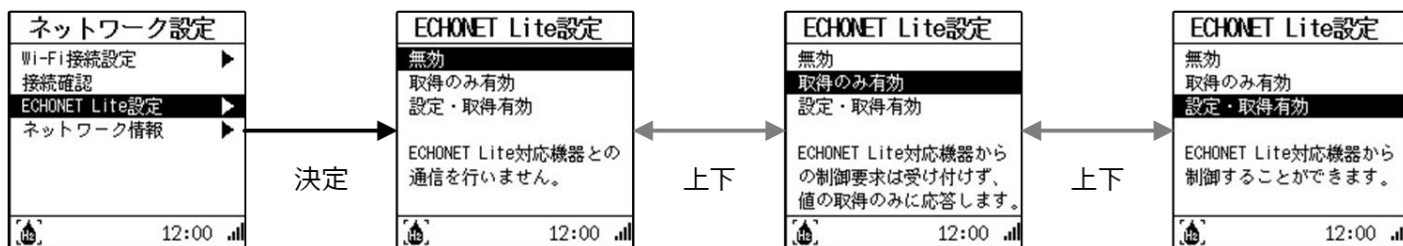
収集保管させていただくデータは製品の保守品質改善の目的のみに使用し、保管先において適切に管理を行います。

●ECHONETLiteの接続設定をする

メニュー→ネットワーク設定→ECHONETLite 設定を選び、決定ボタンを軽く押し、「無効」

「取得のみ有効」、「設定・取得有効」を設定する

有効にすることで ECHONETLite 対応のコントローラと接続が可能です。



※ECHONETLite は、エコーネットコンソーシアムが策定した HEMS(Home Energy Management System) の通信規格です。ECHONETLite 対応機器から充電放電の制御を受け付けることができます。

操作方法に関しては対応機器の取扱説明書をご確認ください。

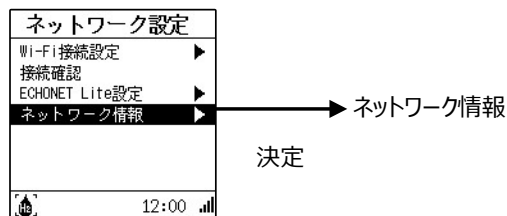
ECHONETLite Ver.1.14、Appendix Release R に対応しています。

ネットワークの設定を確認する

ネットワークの接続や IP アドレスの設定、ネットワーク情報の確認ができます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→ネットワーク設定→ネットワーク情報を選び、決定ボタンを軽く押す



3 上下ボタンで確認する情報を選ぶ

ネットワークの情報を確認できます。



SSID	Wi-Fi における親機(AP)の識別名です。接続先のルータの SSID が表示されます。 ^{※1}
MAC アドレス	ネットワーク機器のハードウェアとしてのアドレスです。変更することはできません。
IP アドレス	ネットワーク上の機器を識別するためのアドレスです。
サブネットマスク	IP アドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
デフォルトゲートウェイ (GW)	内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入口の役割を果たすように設定されたルータ等のアドレスです。
識別番号(ノード) ^{※2}	ECHONETLite のノードプロファイル(ECHONETLite 対応端末についての共通情報を管理するオブジェクト)を識別するための ID です。
識別番号(蓄電池) ^{※2}	ECHONETLite の蓄電池クラス(ECHONETLite 対応端末についての蓄電池情報を管理するオブジェクト)を識別するための ID です。

※1：全角は正しく表示されません。

※2：ECHONETLite 設定が「設定・取得有効」または「取得のみ有効」時に表示されます。

画面表示や操作音の設定を変える

画面の点灯時間やコントラスト、操作音、時刻表示などを、お好みで調整できます。

工場出荷時	LCD 点灯設定	: 1 分
	LCD コントラスト	: LV5
	音量設定	: 小
	ボタン操作音設定	: あり
	時刻表示設定	: 24 時間表示

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→リモコン設定を選び、決定ボタンを軽く押す



3 上下ボタンで設定する項目を選ぶ

次の設定ができます。

LCD 点灯設定	LCD バックライト消灯までの時間を設定します。 1 分、5 分、10 分の 3 つの中から選択できます。		
LCD コントラスト設定	LCD のコントラストを調整します。 Lv0(薄い)~Lv9(濃い)の 10 段階の中から選択できます。		
音量設定	ブザーの音量を調整します。 なし、小、中、大の 4 つの中から選択できます。		
ボタン操作音設定	ボタン操作音を使用するかどうかを設定します。 あり、なしの 2 つの中から選択できます。		
時刻表示設定	時刻の表示形式を設定します。 24 時間表示、am/pm 表示の 2 つの中から選択できます。		

日時を設定する

現在の日時を自動または手動で設定します。

インターネットに接続されている場合、自動的に時刻を更新します。

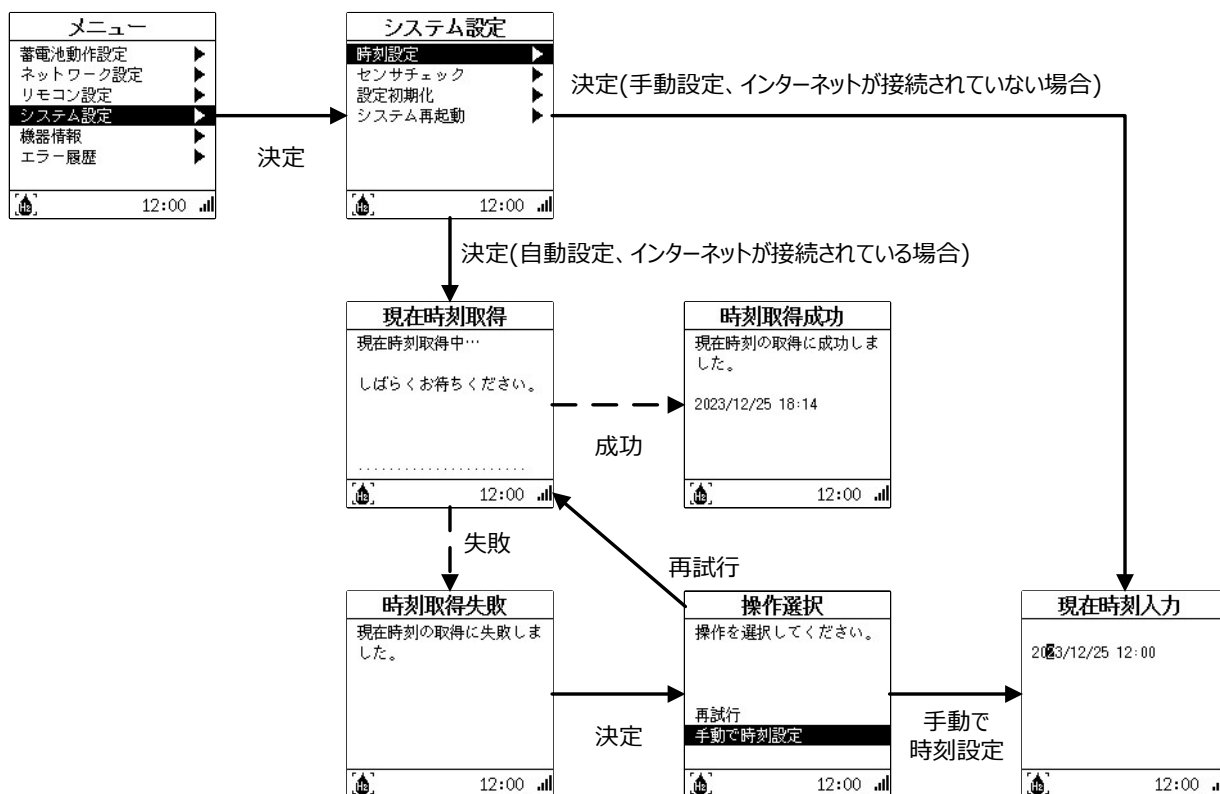
インターネットに接続されていない場合、20YY/MM/DD hh:mm の形式で時刻入力を行います。

設定可能範囲は 2020/01/01 00:00~2050/12/31 23:59 です。

- 自動設定されている場合、通常はお客様で実施いただく必要はありません。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→時刻設定を選び、決定ボタンを軽く押す



注：自動設定に失敗した場合はネットワークの接続を確認し、再試行してください。または手動で設定してください。

注：インターネット接続がされているにもかかわらず、手動設定が表示される場合、「接続確認」(⇒P.34)を実施してください。

注：手動設定を行った場合、長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをおすすめします。現在時刻に進みや遅れが生じると、時間帯別の電気料金をご利用の場合は、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生する可能性があります。

センサチェックを行う

本項目は、系統 CT センサが正常に動作するか確認を行います。

- 発電 CT センサ、補足 CT センサの確認は行いません。
- 通常はお客様で実施いただく必要はありません。

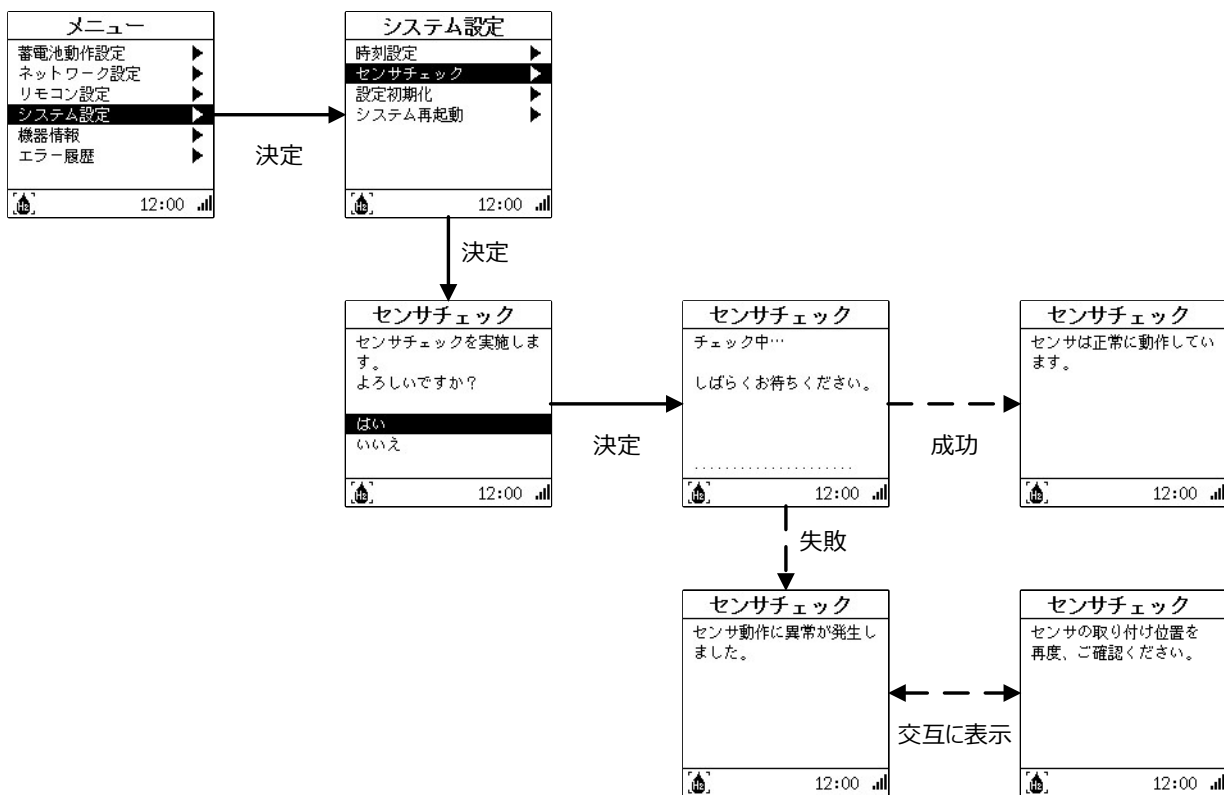
1 蓄電システムの運転を停止する(⇒P.17)

2 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

3 メニュー→システム設定→センサチェックを選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

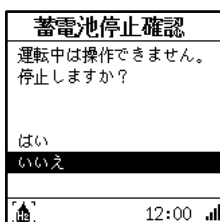
「いいえ」を選択するとセンサチェックをキャンセルして終了します。

- 上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



※センサチェックに失敗した場合は、CTセンサの取り付けを確認してください。ご不明な場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

- 運転中にセンサチェックを実施すると蓄電池停止確認が表示されます。



設定を初期化する

システムの設定を初期化できます。

設定を初期状態に戻したい場合に実行してください。

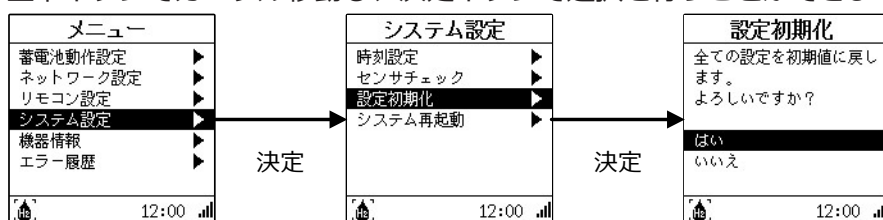
●初期化した場合は、下表の項目が初期化されます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

2 メニュー→システム設定→設定初期化を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタンを軽く押す

「いいえ」を選択すると初期化をキャンセルして終了します。

●上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



3 初期化が始まります

下記項目が初期化されます。

蓄電池設定	設定初期化後の値(初期値)
運転・停止状態	停止
蓄電池運転モード	シングル、ダブル、電池のみ契約：通常モード エネファーム100V、200V契約：エネファームモード
放電下限SOC	30%
充電タイマー情報(通常モード時)	23:00～6:59(有効固定)
充電タイマー情報(グリーンモード時)	有効/23:00～6:59、充電上限SOC/50%
放電タイマー情報(通常モード時)	無効/7:00～22:59
緊急充電モード設定	停止
リモコン設定	設定初期化後の値(初期値)
LCD点灯設定	1分
LCDコントラスト	LV5
ブザー音量設定	小
キー操作音設定	あり
時刻表示設定	24時間表示
ネットワーク設定	設定初期化後の値(初期値)
Wi-Fi接続設定	未設定
ECHONETLite設定	取得のみ有効
システム設定	設定初期化後の値(初期値)
時刻設定(自動/手動)	手動
PV自立引込電流	施工時の設定に初期化されます

システムを再起動する

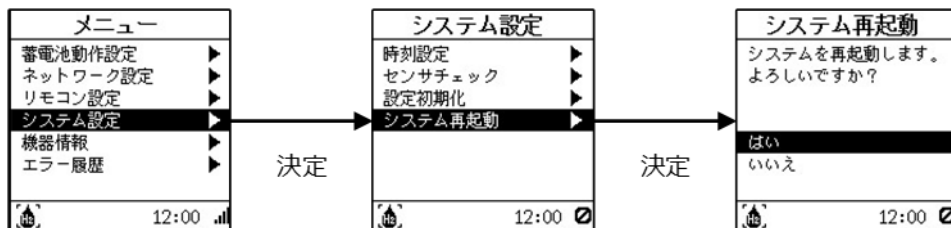
システムの再起動ができます。

1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す

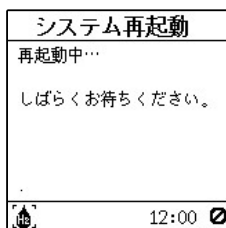
2 メニュー→システム設定→システム再起動を選び、「はい」にカーソルを合わせ、決定ボタン内リモコンのメニューボタンを軽く押す

「いいえ」を選ぶとシステム再起動をキャンセルして終了します。

•上下ボタンでカーソル移動し、決定ボタンで選択を行うことができます。



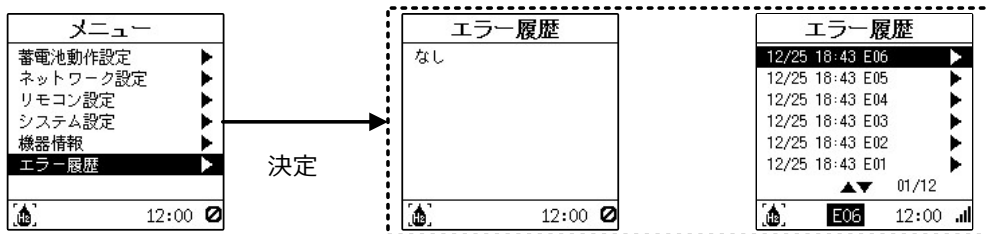
3 システム再起動が始まります



エラー履歴を確認する

エラー履歴が確認できます。

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→エラー履歴を選び、決定ボタンを軽く押す



機器情報を確認する

機器が持っている情報や設定内容を確認できます。

- 1 室内リモコンのメニューボタンを軽く押す
- 2 メニュー→機器情報を選び、決定ボタンを軽く押す



- 3 上下ボタンで確認する項目を選ぶ

次の内容が確認できます。

機器情報	機器情報	機器情報	機器情報	機器情報
リモコン 製造番号 22Y256788 リモコン S/W Ver. R2M_09_000	本体接続台数 1台 モデル EGS-LM0322G	郵便番号 900-0000 設置場所 屋外	契約設定 エネファーム100V 太陽光発電 1台 / 10.0kW 契約容量 30A	エネファーム アイシン製 エネファーム連系 100V(三相) 発電CT / 補足CT あり / あり
補助入力 あり PV自立引込電流 10A 充電再開時間 10分	設置日 2023/12/25 本体 製造番号 99EM01011 本体 S/W Ver. PD5_1_EM	交流過電圧検出 115.0V 1.0秒 交流不足電圧検出 80.0V 1.0秒	周波数上昇検出 51.0 / 61.2Hz 1.0秒 周波数低下検出 47.5 / 57.0Hz 2.0秒	復帰時遮断装置投入 300秒 周波数FBゲイン 低減設定 並列時許容周波数 50.10 / 60.10Hz
系統電流 U: 1.0A W: 1.0A 系統電圧 U: 101.1V W: 101.2V	発電CT電流 2.0A 補足CT電流 3.0A			

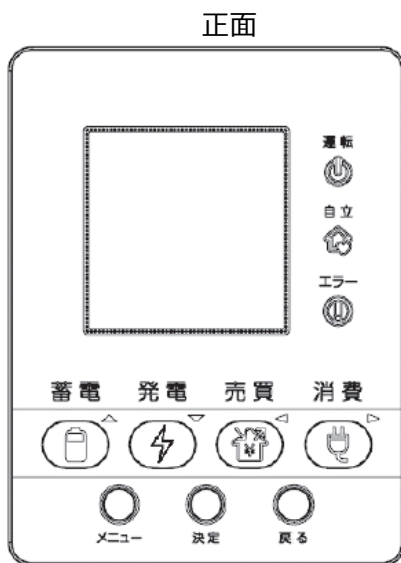
※蓄電池システムの設定により表示内容は異なります。

室内リモコンをリセットする

室内リモコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。室内リモコンの右側面のリセットボタンを短押し(1秒未満)をすると蓄電システムが再起動します。起動には数秒かかります。

●リセットボタンを5秒程度長押しすると、蓄電システムに記録している以下のデータが、工場出荷時の値に初期化されますのでご注意ください。

- ・「メニュー設定での初期化」(P.40)で初期化される項目



右側面



爪楊枝などの先がとがったものでリセットボタンを押す。強い力で押すと破損するおそれがありますのでご注意ください。

メニューから設定できる項目

第一階層(メニュー)	第二階層(メニュー)	第三階層(メニュー)
蓄電池動作設定	蓄電池運転・停止	運転、停止
	蓄電池運転モード	通常モード ※契約設定がエネファーム 100V、 エネファーム 200V の場合は選択不可
		グリーンモード ※契約設定がシングルの場合のみ選択可能
		エネファームモード ※契約設定がエネファーム 100V、 エネファーム 200V の場合のみ選択可能
	放電下限 SOC	0%、10%、20%、30%、40%、50%、 60%、70%、80%、90%、100%
	充電タイマー設定	有効、無効 ※通常モード、グリーンモードのみ設定可 充電上限 SOC 50%、60%、70%、80%、90%、100% ※グリーンモードのみ充電上限 SOC を設定可
	放電タイマー設定	有効、無効 ※通常モードのみ設定可
緊急充電モード設定	緊急充電モードを開始、停止	
ネットワーク設定	Wi-Fi 接続設定	WPS-PBC 接続
	Wi-Fi 接続設定 接続確認	選択接続
		手動接続(SSID、パスワード、IP 設定)
	ECHONETLite 設定	無効、取得のみ有効、設定・取得有効
ネットワーク情報	—	
リモコン設定	LCD 点灯設定	1 分、5 分、10 分
	LCD コントラスト	Lv0(薄い)~LV9(濃い)
	音量設定	なし、小、中、大
	ボタン操作音設定	あり、なし
	時刻表示設定	24 時間表示、am/pm 表示
システム設定	時刻設定	—
	センサチェック	はい、いいえ
	PV 自立引込電流	5A、10A、14A ※補助入力設定ありの場合のみ設定可
	設定初期化	はい、いいえ
	システム再起動	はい、いいえ
機器情報	—	—
エラー履歴	—	—

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容にしたがって、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と停止時に発生します)

- 運転時の高周波音はまれに聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

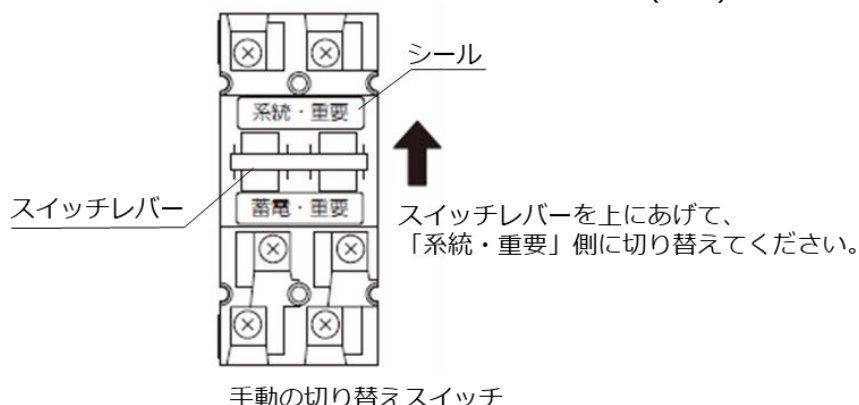
100A までのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した(停止させる)場合

- 蓄電システム用分電盤を使用している場合
「蓄電システム」のシールが貼ってある蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
- 蓄電システム用分電盤を使用していない場合
「系統・重要」「蓄電・重要」のシールが貼ってある手動の切替スイッチ(下図)を「系統・重要」側に切り替えてください。



長期不在の場合

- 長期不在の場合でも、通常の連系運転(➡P.17)で運転したまま、分電盤の「蓄電システム用ブレーカ」、「契約ブレーカ」と「主幹漏電ブレーカ」は「OFF」にしないでください。
- やむを得ず契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカを「OFF」にする場合は、長期間放置により蓄電池残量がゼロになり、電池が過放電になる可能性がありますので、お買い上げの販売会社へご連絡し、蓄電システムをシャットダウンさせてください。

特定コンセントに接続している家電製品が動かない場合

- 特定コンセントへの定格出力 1500W を超過している可能性があります。接続している家電製品を減らし、定格内に調整してください。
停電時に蓄電システム本体が高温または低温になった場合は電池保護のため放電出力が定格より小さくなる場合があります。その場合は接続している家電製品をさらに減らしてご確認ください。

停電時に電池残量がなくなってしまった場合

- 停電時に電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。停止した状態が長く続くと本体保護でシステムがシャットダウンし、特定コンセントへの電力供給が停止します。下記の手順に従って蓄電池を充電し、システムを自動復帰させてください。
- 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されている場合は太陽光発電から蓄電システムに電力を供給して充電を行います。
 1. 太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
 2. 特定コンセントからすべての機器を外してください。
※ 特定コンセントに負荷が接続されている場合は蓄電システムが充電されない場合があるので、必ず機器を取り外してください。
 3. 太陽光発電から電力が蓄電システムに供給されると、充電が開始され、リモコン画面の表示が現れます。
 4. P.17 の手順に従って運転を開始してください。
- 太陽光発電の自立出力が蓄電システムに接続されていない場合は、停電から復旧すると自動で運転を再開し、リモコン画面の表示が現れます。
通常モード・グリーンモードの場合、電池残量が 10% に到達するまで強制充電を行います。
エネファームモードの場合、電池残量が 30% に到達するまで強制充電を行います。
※ 停電から復旧後に蓄電システムが充電されない場合は、分電盤内の蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていることを確認してください。それでも充電されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

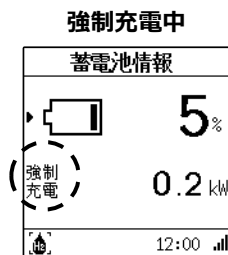
- 停電状態以外で、室内リモコンの画面が表示されない場合は、蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていることを確認してください。本体の保護でシステムがシャットダウンしている可能性があります。蓄電システム用ブレーカが「ON」になっていて、室内リモコンの画面が表示されない場合は、室内リモコンが故障している可能性があります。お買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 停電状態で、室内リモコンの画面が表示されない場合は、電池残量がない場合も考えられます。「停電時に電池残量がなくなってしまった場合」(➡ 上記) の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

こんなときは つづき

室内リモコン画面に「強制充電」と表示された場合

- 電池残量 0%の状態が続くと、電池の保護のために、電気のご使用量等に関係なく強制的に充電状態^{※1}になりますが、故障ではありません。

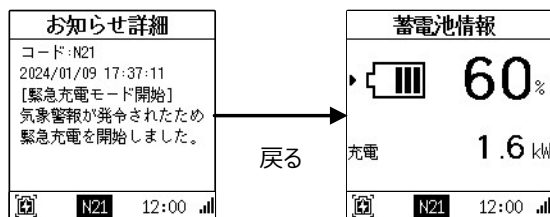
※1：室内リモコンの表示画面に「強制充電」のメッセージが表示されます。電池残量が 10%(エネファームモードの場合 30%)に到達すると強制充電を終了します。



室内リモコン画面に「N21」の通知が表示された場合

- 緊急充電モード自動切替が有効設定の場合に、設定された地域に対象の気象警報^{※1}が発令された場合、蓄電システムは緊急充電モードに移行し、「N21」^{※2、3}というコード表示と共にブザーを鳴らして通知します。

気象警報の発令による緊急充電モード開始



※1：切替対象の気象警報は以下の通りです。

特別警報	大雨特別警報、大雪特別警報、暴風特別警報、暴風雪特別警報
警報	大雨警報、洪水警報、大雪警報、暴風警報、暴風雪警報

※2：「N21」は、気象警報の発令による緊急充電モードが解除されたタイミングで自動的に解除されます。

※3：既に停電になった状態で警報が発令された場合は緊急充電モードへの自動切り替えは行われません。

● 緊急充電モードの切り替えについて

- ・ 緊急充電モード自動切替を使用するには、インターネットへの接続が必要になります。
- ・ インターネット環境が悪い場合、緊急充電モード自動切替が正しく動作しない可能性があります。
- ・ インターネットへの接続が不通になり気象警報を受け取ることができない場合は、気象状況をお客様でご確認いただき、手動で緊急充電を設定ください。(⇒P.22)
- ・ 頻繁に緊急充電モードを使用すると蓄電池の寿命に影響する可能性があるため、必要時のみご使用ください。
- ・ 緊急充電モード自動切替を有効に設定している場合でも、手動切替によって緊急充電モードの開始・解除が可能です。(⇒P.22)
- ・ 緊急充電モードは開始後 24 時間経過すると、自動で緊急充電モードが解除され、緊急充電前の運転モードに切り替わります。
- ・ 手動切替によって緊急充電モードを解除した場合、解除から 24 時間以内に警報が発令されていても、緊急充電モードへの自動切替は行われません。

エネファームモードでお使いの場合

- 住宅内の電気は、その電気配線方法により2つのグループ(U相、W相)に分かれています。本製品の放電は、2つのグループのうち、いずれかの電気のご使用量の少ない方にあわせて放電を行います。これは、蓄電池からの放電が商用電源に逆潮流することを防止するための措置であり、住宅全体の電気のご使用量に対して、放電量が少なくなることがありますが、異常ではありません。本製品では、電気のご使用量が急激に変化する場合、放電を一時的に停止することがあります。放電を再開するまでに時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。

電池残量 100%まで充電できない場合

- 周囲温度が高い場合や低い場合は蓄電池を100%まで充電できない場合がありますが、故障ではありません。

塗装が剥がれた場合

- ご使用期間中に、まれに塗装剥がれが発生する場合があります。製品塗装面に外的要因で剥がれやキズが入った場合は販売会社にご連絡ください。ただし、アンカー固定部は、素地が出ない場合は、問題ないのでご安心ください。

こんなエラーが出たときは

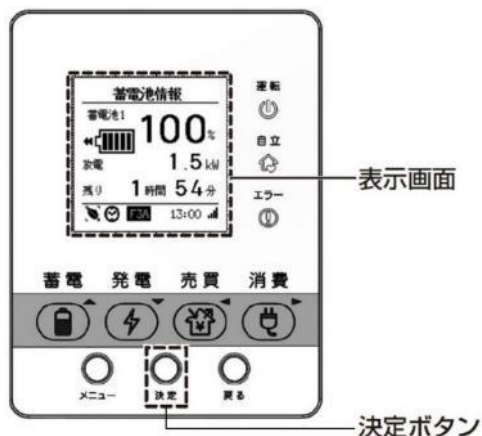
エラーコードが表示された場合、エラー音が鳴ります。しばらく放置するとエラー音は自動的に消えます。決定ボタンを1回軽く押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラーお知らせ発生時の動作

- 室内リモコンからエラー音が鳴ります。(「エラーの種類」(→P.53)のエラー音参照)
- 室内リモコンのエラーアイコンが赤く点灯します。
- 室内リモコンの画面下部にエラーコードが表示されます。
- 室内リモコンのホーム画面(蓄電池、発電、売買、消費情報)を表示している場合、決定ボタンを押すと発生中のエラー・お知らせ一覧に遷移します。

表示について

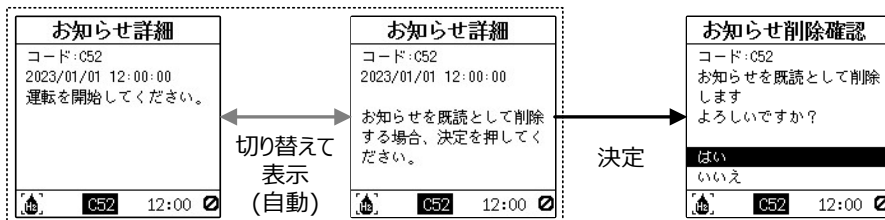
室内リモコン



以下の説明の「XX」には0~9とA~Z(英数字)が入ります。

● お知らせ表示(CXX)

この表示が出ても故障ではありません。
メッセージの内容をご確認の上、決定ボタンで削除することが可能です。



※ 「C50」、「C51」の場合は、数秒で自動的に表示が消え、削除されます。

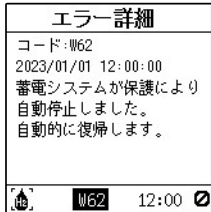
● エラー表示(NXX)

この表示が出ても故障ではありません。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



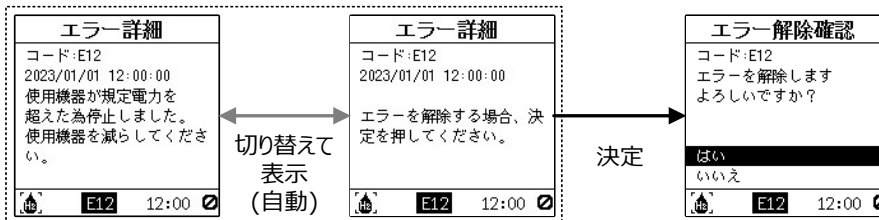
● エラー表示(WXX)

この表示が出ても故障ではありません。自動復帰します。ただし、「W62」、「W65」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



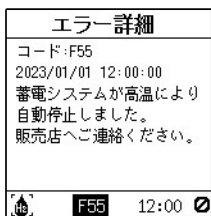
● エラー表示(EXX)

この表示が出ても故障ではありません。エラーの内容を確認の上、解除することが可能です。エラー詳細画面で決定ボタンを押し、エラーを解除することが可能です。原因を除去してもメッセージが繰り返し発生する場合はお買い上げの販売会社へご連絡ください。



● エラー表示(FXX)

この表示の場合は故障です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



● エラー表示(RXX)

この表示の場合は故障です。お買い上げの販売会社へご連絡ください。ただし、「R01」は本体との通信が回復次第、自動的に復帰します。メッセージが継続して発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。詳細表示を終了する場合は、戻るボタンを押してください。



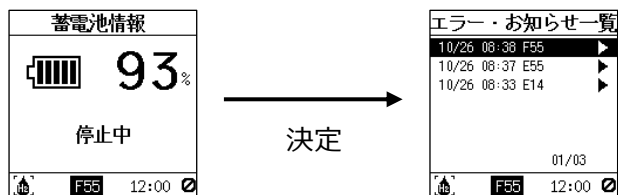
こんなエラーが出たときは つづき

● 複数エラーの表示

複数のエラーが発生した場合、画面下部には優先度の一番高いエラーコードが表示されます。

※優先度は高い順に RXX、FXX、EXX、WXX、NXX、CXX となります。

画面下部にエラーコードが表示されており、ホーム画面を表示している場合、決定ボタンを押すと発生中のエラー・お知らせ一覧に遷移します。



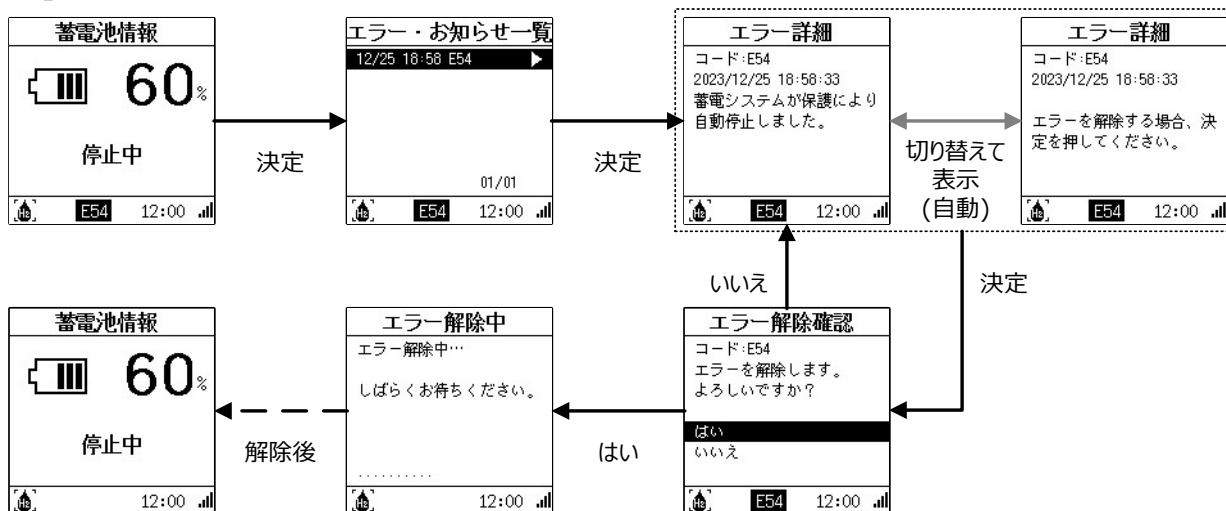
エラーを解除する

エラーコード「CXX」、「EXX」は解除可能です。エラーコード「WXX」、「NXX」は自動復帰します。エラーコード「FXX」、「RXX」はお買い上げの販売会社へご連絡ください。

※「XX」には、0~9とA~Z(英数字)が入ります。





● エラーコードの解除フロー

例) 「E54」を解除



エラーの種類

エラーには次の種類があります。エラーコードが表示された場合、エラー音が鳴ります。しばらく放置するとエラー音は自動的に消えます。決定ボタンを1回軽く押すと、その都度エラー音を消すことができます。

エラーコード	室内リモコン画面表示	内容および処置	エラー音
RXX	<p>エラー詳細</p> <p>コード:R01 2023/01/01 12:00:00 [接続機器応答なし] リモコンケーブルに異常がないか、ご確認ください。解決しない場合、販売店へご連絡ください。</p>  R01 12:00	<p>室内リモコンの異常です。 お客様では復帰できないエラーです。お買い上げの販売会社へご連絡ください。※1</p>	ピピーピピーピピー
FXX	<p>エラー詳細</p> <p>コード:F55 2023/01/01 12:00:00 蓄電システムが高温により自動停止しました。販売店へご連絡ください。</p>  F55 12:00	<p>お客様では復帰できないエラーです。 分電盤内の切替スイッチを「系統」に切り替え、お買い上げの販売会社へご連絡ください。※1</p>	ピピピピピ…
EXX	<p>エラー詳細</p> <p>コード:E12 2023/01/01 12:00:00 使用機器が規定電力を超えた為停止しました。使用機器を減らしてください。</p>  E12 12:00	<p>お客様で復帰可能なエラーです。決定ボタンを押して表示されるメッセージにしたがって操作してください。エラーを解除すると運転動作が再開されます。原因を除去してもメッセージが繰り返し発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。※1 「主な異常メッセージの内容と処置」(⇒P.54)をご確認頂き、必要なものについては処置を行ってください。</p>	ピピピピーピピピーピ ピピー
WXX	<p>エラー詳細</p> <p>コード:W62 2023/01/01 12:00:00 蓄電システムが保護により自動停止しました。自動的に復帰します。</p>  W62 12:00	<p>警告です。基本的には復帰できる条件が整った場合、自動的に解除されます。 「主な異常メッセージの内容と処置」(⇒P.54)をご確認頂き、必要なものについては処置を行ってください。</p>	ピピーピピーピピー
NXX	<p>お知らせ詳細</p> <p>コード:N02 2023/01/01 12:00:00 [WLAN切断] WLAN切断状態が継続しています。</p>  N02 12:00	<p>ネットワーク関連のお知らせです。 「注意メッセージの内容と処置」(⇒P.55)をご確認頂き、必要なものについては処置を行ってください。</p>	—
CXX	<p>お知らせ詳細</p> <p>コード:C51 2023/01/01 12:00:00 停電しました。</p>  C51 12:00	<p>お知らせです。故障ではありません。不要となった場合は自動的に削除されます。決定ボタンを押して表示されるメッセージにしたがって操作してすることで削除することが可能です。 「注意メッセージの内容と処置」(⇒P.55)をご確認頂き、必要なものについては処置を行ってください。</p>	—

※1：お買い上げの販売会社へご連絡していただく際には、画面に表示されているエラーコードもご連絡ください。

こんなエラーが出たときは つづき

メッセージの種類

■ 主な異常メッセージの内容と処置

コード	メッセージ	内容および処置
E12、E22 E35	使用機器が規定電力を超えた 為停止しました 使用機器を減らしてください	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
上記以外の EXX	蓄電システムが保護により自 動停止しました。	蓄電システムが保護により自動停止しました。エラー解除で きない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
W22、W35	使用機器が規定電力を超えて います 使用機器を減らしてください	使用機器が規定電力を超えています。 使用機器を減らしてください。
上記以外の WXX	蓄電システムが保護により自 動停止しました 自動的に復帰します	蓄電システムが保護により自動停止しました。 自動復帰しない場合は、お買い上げの販売会社へご連絡 ください。

■ 注意メッセージの内容と処置

コード	メッセージ	内容および処置
C14	設置から 14 年 経過しました	初回設置日から 14 年が経過しました。
C15	設置から 15 年 経過しました	初回設置日から 15 年が経過しました。
C12	使用機器が規定電力を 超えています 使用機器を減らしてくだ さい	消費電力が大きい機器のご使用をお控えください。
C30	蓄電池の残量が 低下しました	電池残量が少なくなっているので充電してください。
C50※1、※2	復電しました	復電しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の切替スイッチを「系統」側にしてください。
C51※1、※2	停電しました	停電が発生しました。手動切替スイッチをご使用の場合は、分電盤内の切替スイッチを「蓄電」側にしてください。
C52	運転を開始してください	蓄電池の電圧が低下しています。室内リモコンの運転開始操作を行ってください。
N02	[WLAN 切断] WLAN 切断状態が継続して います	ネットワーク接続をご利用されている場合： Wi-Fi に接続出来ない状態が継続しています。 ネットワーク設定が未設定や間違っている可能性がある場合は、ネットワーク設定(⇒P.31)を行ってください。 電波状態が悪い場合は、無線 LAN ルータの位置を調整してください。また、無線 LAN ルータを再起動することで症状が改善する場合があります。 それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。 ネットワーク接続をご利用されない場合： この表示が出ても故障ではありません。そのままご使用ください。 詳細表示を閉じるには、戻るボタンを押してください。
N03	[インターネット切断] インターネットへ接続でき ない状態が継続しています	インターネットに接続出来ない状態が継続しています。 蓄電システムと接続している無線 LAN ルータからインターネットに接続できるかを確認してください(パソコン等でインターネットに接続できるか確認してください)。 接続できる場合： インターネットへの接続確認(⇒P.34)を行ってください。失敗する場合は、N02 と同様の処置を行ってください。それでも症状が発生する場合は、お買い上げの販売会社へご連絡ください。 接続できない場合： 回線終端装置またはモデムを再起動してください。それでも症状が発生する場合は、加入しているプロバイダーへご相談ください。

※1：瞬間的な停電時にも表示することがあります。

※2：しばらく表示された後、自動的に解除されます。

点検とメンテナンス

■風水害または地震時の対応

- 風水害時に水没のおそれがあるときは、分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。
- また、水没した場合には、分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 地震の場合は、被害状況に応じて、お買い上げの販売会社へご連絡ください。
- 手動切替スイッチがある場合：
分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず切替スイッチを「系統」側にしてください。
※切替スイッチはオプションになります。

■定期的な点検とメンテナンス

- 蓄電システムの性能を維持するために定期的に点検、清掃をお願いいたします。

・表面の汚れの清掃

表面が汚れた場合、安全のため、ゴム手袋等を着用して、タオルなどの柔らかい布で水拭きをして汚れを除去したあと、乾いたタオルで空拭きしてください。※塗装を痛める原因になりますので、薬品・洗剤等は使用しないでください。

・ヒートシンクの清掃と通風性能の維持

ヒートシンクからの放熱性能が低下すると蓄電システムの温度が上昇し、システム保護のために充放電性能を制限することがあります。定期的に次の手順で蓄電システムの動作を停止させてヒートシンクカバーを外し、ヒートシンクカバーと本体のヒートシンクの清掃を実施してください。

※蓄電システムを停止している場合に停電になった場合は蓄電システムからの電力供給は行いません。停電時は下記手順にしたがって蓄電システムを起動させて電力供給を開始してください。

ヒートシンクカバーの取り外しと清掃方法

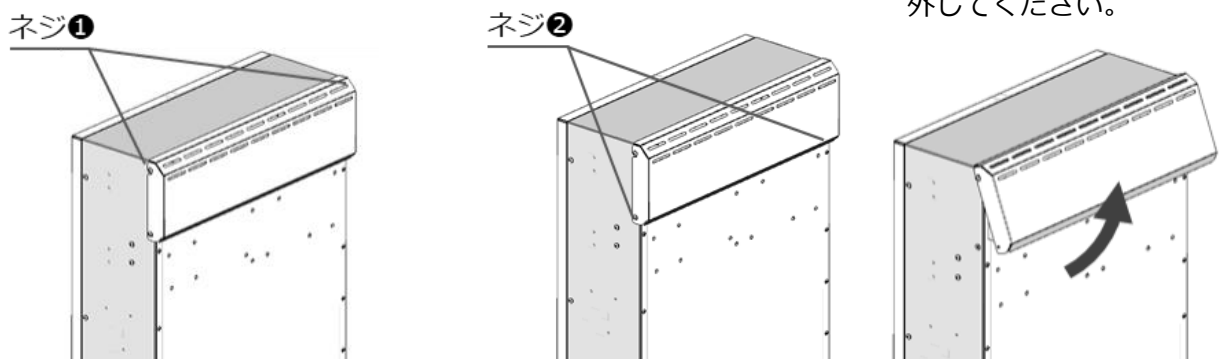
(1)蓄電システムを停止してください(⇒P.18)

※ヒートシンクが高温になっていることがあります。

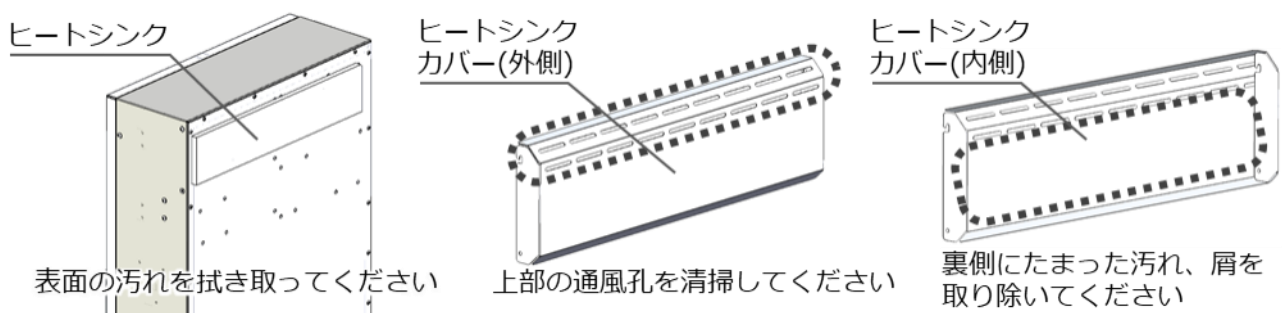
やけどを防止するため、30分以上放置してから次の手順に移ってください。

(2)ヒートシンクカバーを取り外してください

- ①ドライバーで左右両面の上側ネジ①を緩めてください。 ②ドライバーで左右両面の下側ネジ②を外してください。 ③ヒートシンクカバーをななめに持ち上げるように取り外してください。

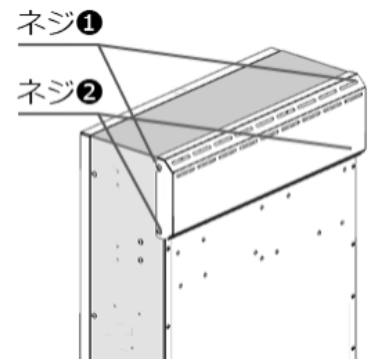
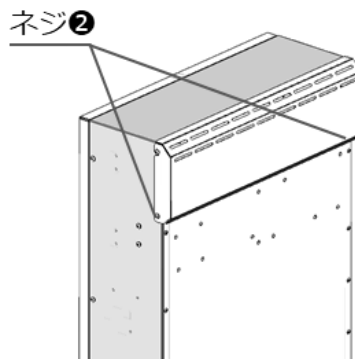
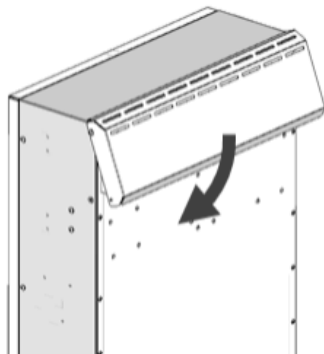


(3)ヒートシンクカバー、ヒートシンクを清掃してください



(4) ヒートシンクカバーを取り付けてください

- ① ヒートシンクカバーを左右のネジ①に引っ掛けてください。 ② ドライバーで左右の下側ネジ②を取り付けてください。 ③ ドライバーでネジ①、②を締めて固定してください。



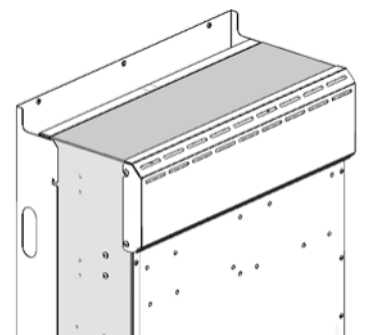
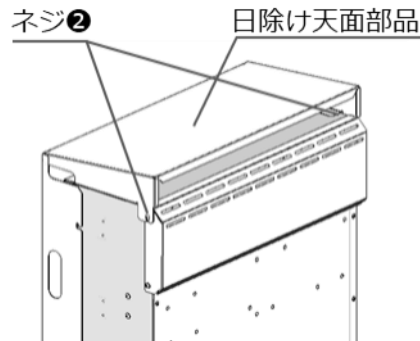
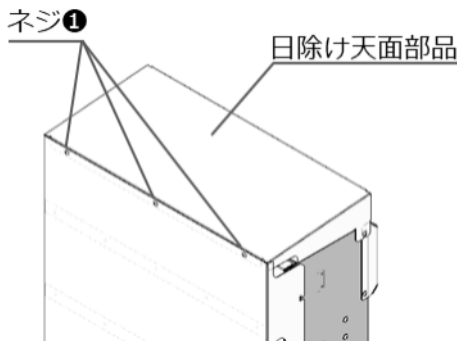
(5) 蓄電システムの運転を開始してください(⇒P.17)。

日除けオプションを取り付けている場合は、下記の手順で日除け天面部品の取り外し、取り付けをお願いします。

日除け天面部品の取り外し

● ヒートシンクカバーの取り外しと清掃方法の(1)項の手順に従って蓄電システムを停止し、本来の温度が下がってから下記の手順で日除け天面部品を取り外してください。

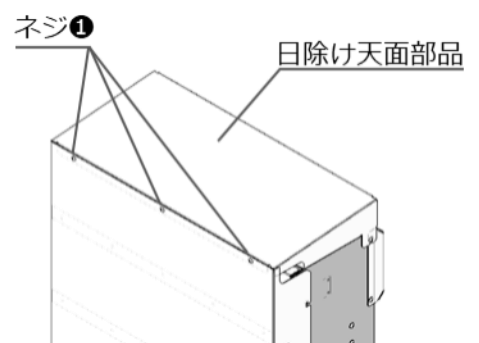
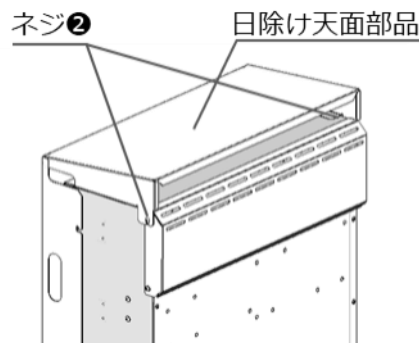
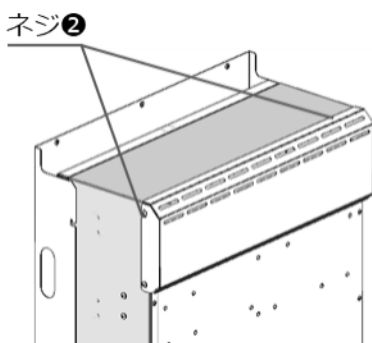
- ① ドライバーで前面のネジ①を外して ② ドライバーで左右両面のネジ②を外してください。 ③ 日除け天面部品を取り外してください。



日除け天面部品の取り付け

● 本体にヒートシンクカバーを付けた後に日除け天面部品を取り付けてください。日除け天面部品を取り付けた後、蓄電システムの運転を開始してください(⇒P.17)。

- ① ドライバーでネジ②を外し ② ドライバーで左右のネジ②を締めて固定してください。 ③ ドライバーで前面のネジ①を締めて固定してください



停電時の家電製品の利用について





●特定コンセントへの定格出力は、AC100V、1500VA(1500W)です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、特定コンセントに定格出力 1500VA を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して特定コンセントへの給電をストップします。使用温度範囲内であっても電池残量によっては蓄電池の保護のため、最大出力を給電できない場合があります。下記の家電製品の特定コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

状態	家電種類	備考
接続禁止	途中で電源が切れると困る家電製品	医療機器、デスクトップ型パソコン等
動作しない場合がある	突入電流など、瞬間的に大きな電流が流れる家電製品	掃除機、遠赤外線ヒーター、冷蔵庫、エアコン、電動工具、洗濯機、オーディオ用等の電源アイソレータ、こたつ、調光機能付き照明器具、温水便座等
	消費電力が大きい家電製品	電子レンジ、電気ストーブ、IH クッキングヒーター、炊飯器等

- 途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- 突入電流など、瞬間的に大きな電流が流れる家電製品は一部動作しない場合があります。
- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントへの定格出力を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージにしたがって、接続している家電製品の数を減らして、エラー解除してください。
- 発熱部分が外部に露出している電熱機器など発煙、発火、火災を引き起こすおそれのある機器に接続しないでください。
- 電池残量が少ない場合や本体周囲温度が高温または低温時にご使用される際は、電池保護のため放電出力が定格出力より小さくなる場合があります。接続している家電製品の数を減らしてご使用ください。
- 蓄電システム用分電盤を使用せずに特定コンセントを使用している場合に、本システムからの電力の供給を遮断するときは、特定コンセントから家電製品を抜いてください。

(接続可能家電製品例)

 ノートパソコン 30W	 リビング用照明 100W	合計 約 300W で最大 9 時間利用可能です。 ※おおよその目安です。蓄電池の充電状態、その他の条件で変わります。
 液晶テレビ 150W	 携帯電話充電 10W (2台)	

保証とアフターサービス よくお読みください

長期保証書の発行について

保証については保証書の内容をよくお読みください。

保証書は、弊社またはお買い上げの販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡し日等の記入をお確かめになり、大切に保管してください。

注：上記の記載がない場合に無効となることがあります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社へお問い合わせください。

● 修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- お買い上げ時期
- 装置の型番と製造番号(装置側面の定格ラベルに表示)
- 故障の状況(エラーコード、故障発生時の時間と天候など)

● 補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後 15 年です。

● 移設等で機器を一時保管される場合は屋内(湿気の少ないところ)に保管してください。

- お客様ご自身では移設を行わないでください。

● 建て替え・引っ越し等に伴い、蓄電池の電力線を撤去した場合の処置方法

- 再設置時には電力会社との連系申請が必要となります。電力会社の系統連系に関する規定類の改訂により蓄電池をご使用できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

仕様

型番		EGS-LM0322G
外形寸法	本体	W550mm×H760mm×D275mm
	室内リモコン	W100mm×H130mm×D21mm
質量	本体	約 54kg
	室内リモコン	約 180g
蓄電池	蓄電池容量	約 3.3kWh ^{※1}
	初期実効容量	2.8kWh(JIS C 4413 による)
	蓄電池種類	リチウムイオン電池
	蓄電池定格電圧	DC 51.2V(単セル当たりの電圧：3.2V)
系統連系運転時定格	定格出力	1.6kVA
	定格出力電圧	AC202V(単相 2 線式、ただし接続は単相 3 線式)
	定格電圧範囲	AC202V±20V
	定格周波数	50 または 60Hz
	出力基本波力率	約 1(定格出力)
	出力電流歪率	総合電流歪率 5%、各次電流歪率 3%以下(定格出力時)
	電力変換効率	93.0% ^{※2}
自立出力定格	最大出力	1.5kVA
	定格出力電圧	AC101V±6V
	出力電流	最大 15A
	出力電気方式	単相 2 線式
PV 自立入力定格	最大入力	1.5kVA
	入力電圧	AC101V±6V
	入力電気方式	単相 2 線式
動作温度		-20~+45℃ ^{※3}

※1：温度 25℃で放電深度が 100%のときの容量ですので、実際に使用できる容量とは異なります。

低温時または高温時は容量が一時的に減少する場合があります。

※2：JIS C 8961 に基づく効率測定方法による定格負荷効率を示します(蓄電池定格電圧)。

※3：本体内の温度センサの計測値によります。

● ソフトウェアライセンスに関して

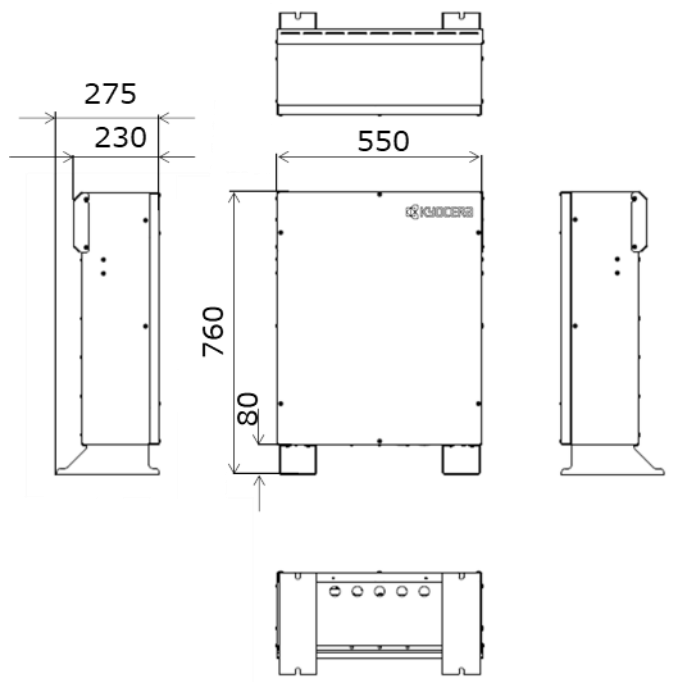
本製品で使用するソフトウェアライセンスは、下記 POWER DEPO[®]のホームページからご確認ください。

<https://sumitomoelectric.com/jp/products/powerdepo>

外形寸法

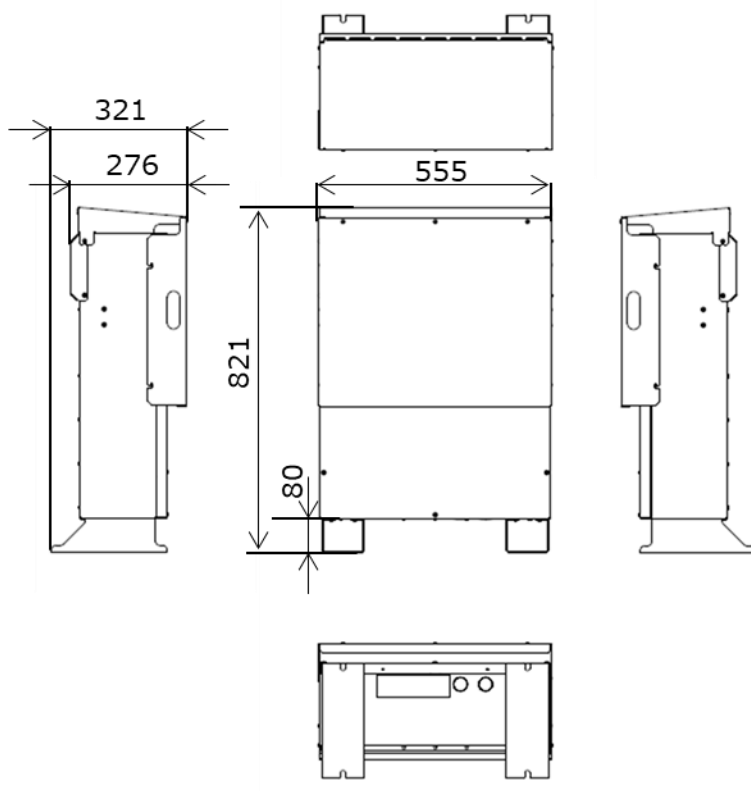
■本体 日除けなし(約54 kg)

単位[mm]



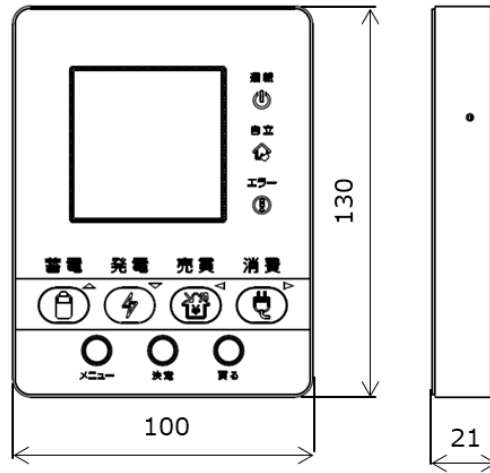
■本体 日除けオプション取り付け時(約59 kg)

単位[mm]



■室内リモコン(約180 g)

単位[mm]



メモ

A series of horizontal dashed lines for writing notes.

京セラ株式会社

修理・アフターメンテナ
ンスのご用命は、
「弊社専用ダイヤル」へ



0120-71-9006 (無料)

24 時間受付
土曜・日曜・祝日も受け付けております。

「エネファーム」は、東京ガス株式会社・大阪ガス株式会社・ENEOS 株式会社の登録商標です。

「ECHONETLite」は一般社団法人エコーネットコンソーシアムの登録商標です。

「Wi-Fi」は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

「AOSS」は株式会社バッファローの登録商標です。

「らくらく無線スタート」は NEC プラットフォームズ株式会社の登録商標です。

「POWER DEPO」は住友電気工業株式会社の登録商標です。



京セラ株式会社 スマートエネルギー事業本部
京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 〒612-8501

当説明書に記載の情報は 2025 年 4 月時点のものです。
当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。



KM-SP-01101-4